

オリジナルカラーリング

1/10th HIGH PERFORMANCE RADIO CONTROL CAR

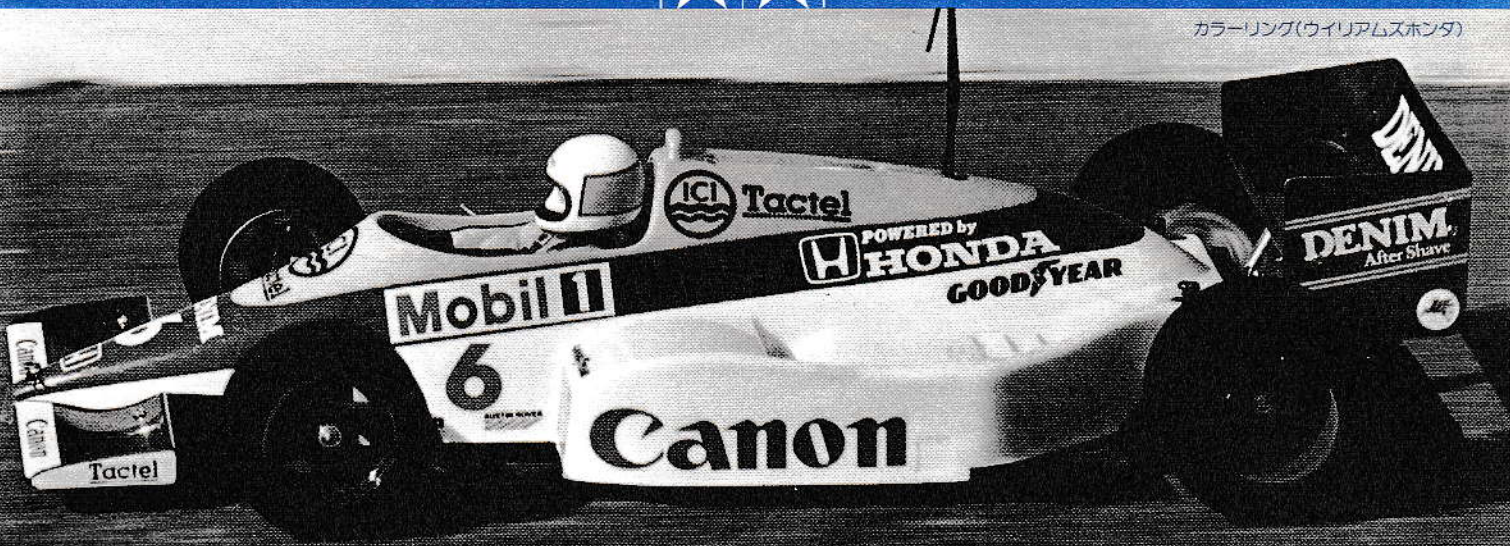
ROAD WIZARD F-1

TAMIYA PLASTIC MODEL CO.



OSHIKA, SHIZUOKA-CITY, JAPAN.

カラーリング(ウイリアムズホンダ)



カラーリング(JPS-ロータス)

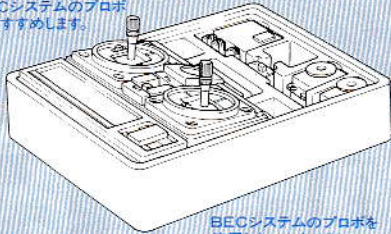


ラジオコントロールメカについて

このRCカーの操縦にはBECシステムの2チャンネルデジタルプロポをおすすめします。BECシステムのプロポは、受信機内にレギュレーターを内蔵したプロポです。他の2チャンネルプロポをご使用の場合はご使用のメカに合った各プロポメーカー製のレギュレーターまたはタミヤから発売中のレギュレーターを別にお買い求め下さい。
★ラジオコントロールメカの取扱いについてはそれぞれの説明書を参考して下さい。

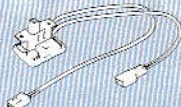
別にお買い求めいただくもの。

2チャンネルのプロポ
★BECシステムのプロポ
をおすすめします。



BECシステムのプロポを使用しないときは別にレギュレーターが必要です。

プロポ用電池



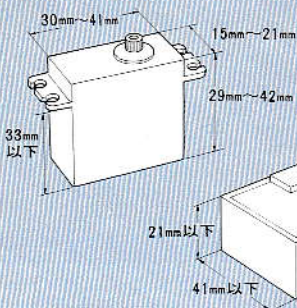
★プロポ用の電源として、単3型タミヤカドニカバッテリーのご使用がお得です。繰り返し充電して、約500回の使用が可能。専用充電器で約10時間で満充電できます。なお、一般の乾電池とカドニカバッテリーを組み合わせて使用するのは危険ですのでおやめ下さい。

タミヤカドニカバッテリー 単3型



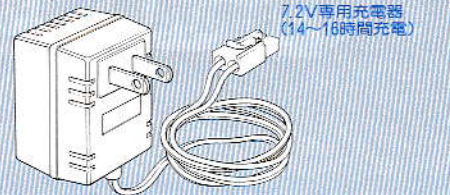
単3型
専用充電器

使用できるサーボ 受信機のサイズ

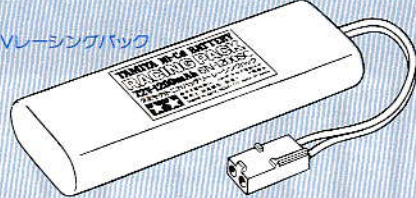


〈走行用電源〉

★このキットはタミヤカドニカ・7.2Vレーシングバックが標準です。専用充電器と共に買い求め下さい。また、別売の6Vカドニカ変換コネクターを使えば6V~1200も使えます。なお、バッテリーの充電はタミヤカドニカ専用充電器をご使用下さい。コンビでの使用が高性能を十分に引き出します。

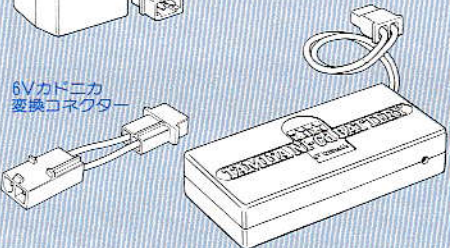


7.2Vレーシングバック



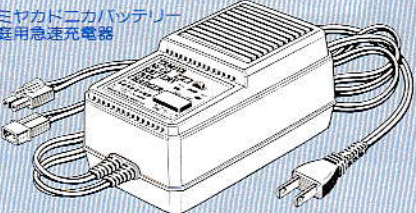
6V専用充電器
(14~16時間充電)

6V 1200
タミヤカドニカバッテリー



タミヤカドニカバッテリー6V、7.2Vはバック式ニッケルカドミウム電池です。放電特性にすぐれ、高性能を楽しめます。また、繰り返し500回以上使って経済的。充電は家庭用100Vコンセントから行なう14~16時間充電器と、同じく家庭用100Vコンセントから約1時間で充電できる急速充電器。そして、車のシガライターから15分で充電できる急速充電器があります。

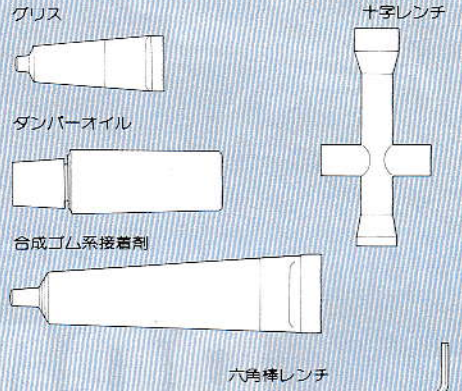
タミヤカドニカバッテリー 家庭用急速充電器



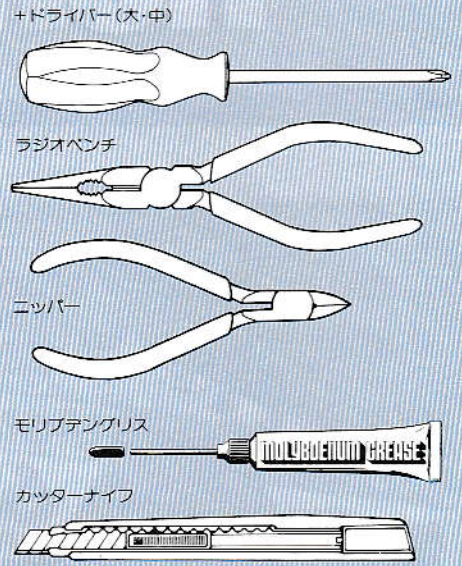
〈組み立てに必要な工具、接着剤など〉

キットには、十字レンチ、六角棒レンチ、ダンパーオイル、合成ゴム系接着剤、両面テープ、グリス、ナイロンバンドが入っています。

〈キットに入っている工具〉



〈別に用意する工具〉

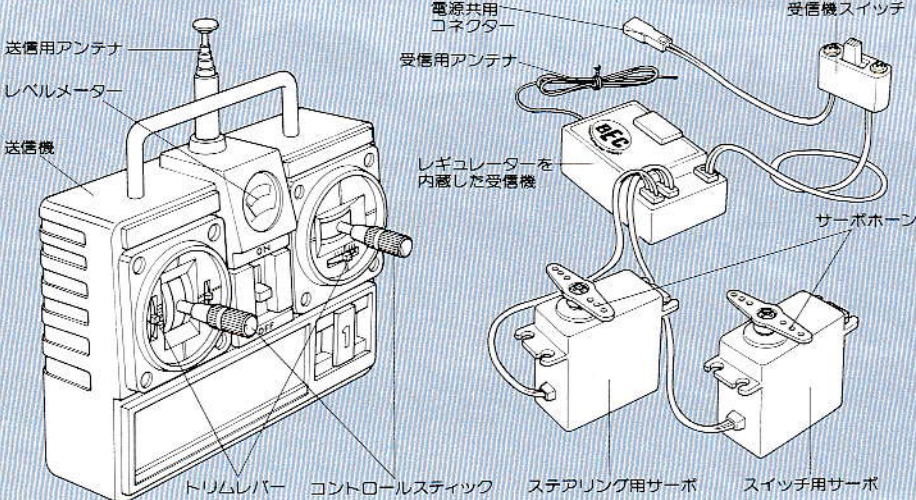


★この他に、ボディの切り抜き用のはさみ、ピンバイスがキリが必要です。又、ピンセット、セロファンテープ等があると便利です。

〈塗装〉

塗装は、モデルの仕上りを決める重要なポイントです。13、14ページの説明をご覧になってカラフルな塗装をお楽しみ下さい。

〈BECシステムの2チャンネルプロポ〉



BECシステムのプロポは、送信機、受信機、サーボなどから成り立っています。
●送信機=コントロールボックスとなるもので、スティックの動きを電波の信号に変えてアンテナから発信します。
●トリムレバー=サーボの動きの中心(中立位置)をずらすための微調整レバーです。
●コントロールスティック=車のステアリング、スイッチにつながるサーボを動かし、車をコントロールします。
●受信機=送信機からの電波の信号を受け取る装置です。受信機内にレギュレーターを内蔵。受信機用の電源を走行用バッテリーから取り出します。なお、BECシステムのプロポ以外のタイプの場合はレギュレーターを別にお買い求めいただく必要があります。
●サーボ=受信機が受けた電波の信号を機械的な動きに変え、車のコントロール部分を動かします。
●サーボホーン=サーボと車のコントロール部分をつなぐ部品の一つです。十字型や円型、棒型などいろいろな形、大きさがあり、つけ変えることができます。



★お買い求めの際、また組立ての前には必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などありました場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。なお組立てを始めた後は、製品の返品、交換などには応じかねますのでご了承下さい。
★小さなビス、ナット類が多く、よく似た形の部品もあります。図をよく見てゆっくり確実に組んで下さい。1つ1つの組立てを確実に行うことが、故障を防ぎ、性能の良いモデルを作るポイントになります。

グリス このマークはグリスを塗る部分に指示しました。必ず、グリスアップして、組みこんで下さい。
Apply grease to the places shown by this mark.
★図中の部品名のあとの()内の表示はその部品がどこに入っているのかを示してあります。ブリスターはブリスターパック内に、ビス(丸)はビス袋(丸)に、金具袋はブリスターの金具袋詰に、デフギヤー袋はブリスターのデフギヤー袋詰に入っていることを示します。パーツ表とあわせて部品をさがすのに役立てて下さい。

①、②、③で使用する小物金具
PARTS USED IN ①, ② AND ③

- (ビス袋詰(A)より)
(Screw bag (A))
- 3φ×8 皿ビス × 4
3mm x 8 Countersunk head screw
 - 3φ×6 丸ビス × 1
3mm x 6 Round head screw
 - 3φ×12 皿タッピングビス × 4
3mm x 12 Flat self tapping screw

- (ビス袋詰(C)より)
(Screw bag (C))
- 3φナット × 2
3mm Nut

- (ダンパー部品袋詰より)
(Damper parts bag)
- ダンパーブッシュ × 1
Damper bushing

《ドライバー》
このキットには、下の2種のドライバーを組み立ててに使用します。図の大きさにあわせて用意して下さい。ビスの大きさにあったドライバーを使用しないと、しめにくいばかりでなく、ビスの頭をこわす原因にもなります。
《SCREWDRIVER》
You should have at hand the two types of screwdriver as shown below.

+ドライバー 大 (原寸図) (Full-sized)
+ Screwdriver large

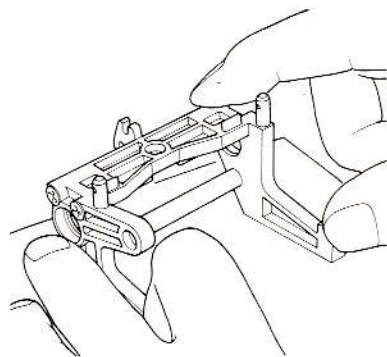
4φアルミ皿ビス、3φ皿ビス、3φタッピングビスに使用します。
For 4mm, 3mm countersunk head screw and 3mm self tapping screw.

+ドライバー 中 (原寸図) (Full-sized)
+ Screwdriver medium

2.6φタッピングビス、2φビスに使用します。
For 2.6mm self tapping screw and 2mm screw.

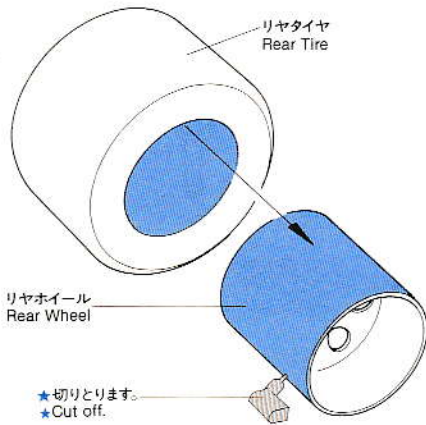
3 《ギヤケースのくみため》

★平らな台の上でゆがみのないようにくみためます。
★Assemble gear case on a flat surface.



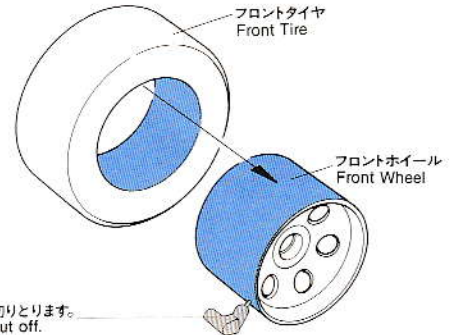
1 タイヤの接着
CEMENTING OF TIRES

《リヤホイール》
《Rear Wheel》
★2個作ります。
★Make 2 sets.



★切りとります。
★Cut off.

《フロントホイール》
《Front Wheel》
★2個作ります。
★Make 2 sets.



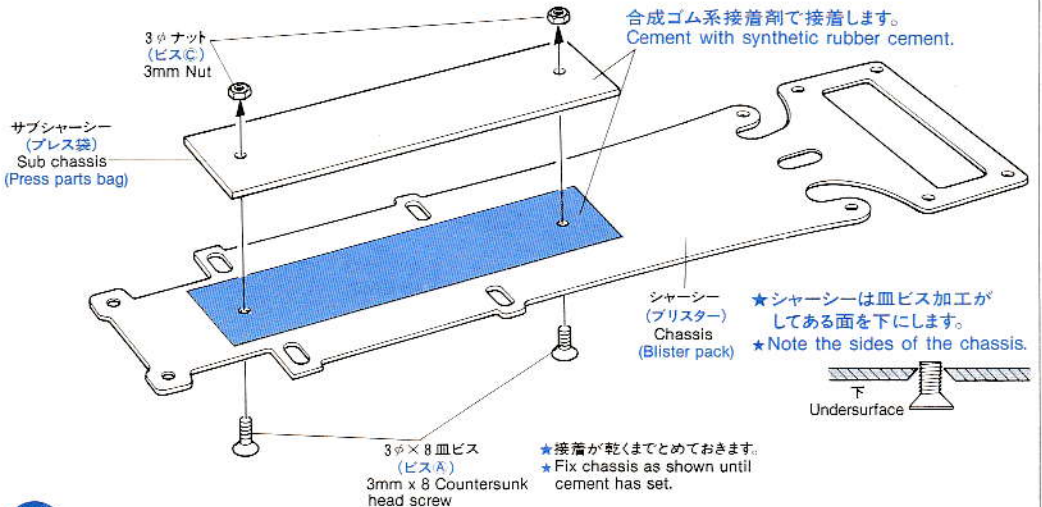
★切りとります。
★Cut off.

タイヤとホイールの間にさしこみ、接着剤をしぼりながら回して下さい。
Apply synthetic rubber cement evenly between wheel and tire.

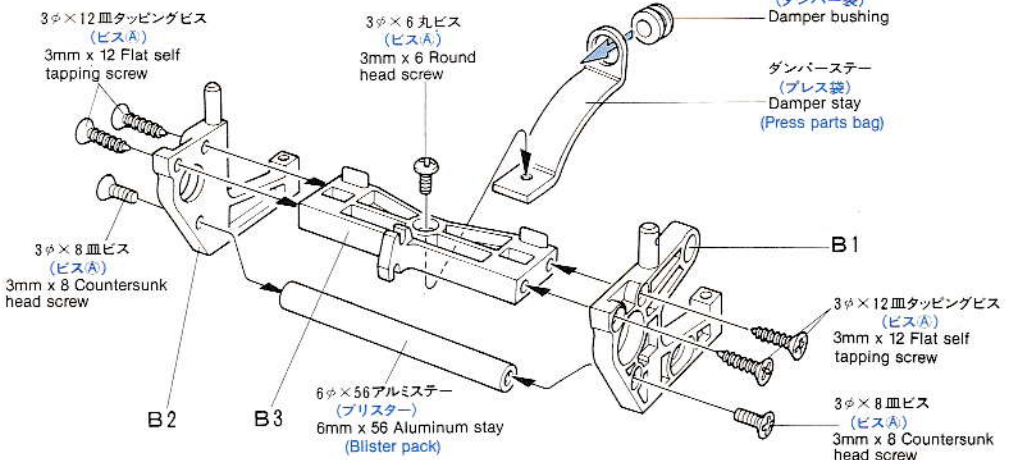
合成ゴム系接着剤
Synthetic rubber cement.

★両側共接着します。
★Apply on both sides.

2 シャーシの接着
CEMENTING OF CHASSIS

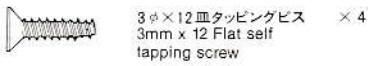


3 ギヤケースのくみため
ASSEMBLY OF GEAR CASE



④、⑤で使用する小物金具)
PARTS USED IN ④ AND ⑤

(ビス袋詰(A)より)
(Screw bag (A))



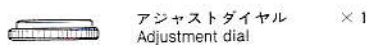
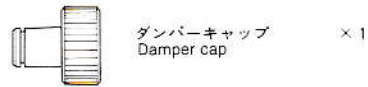
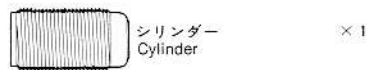
(ビス袋詰(C)より)
(Screw bag (C))



(ブリストパックより)
(Blister pack)



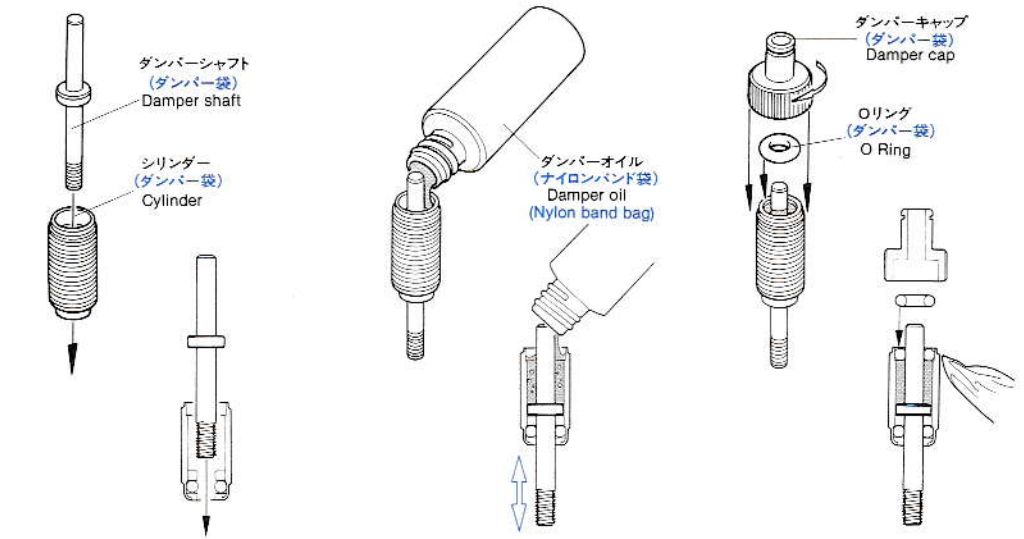
(ダンパー部品袋詰より)
(Damper parts bag)



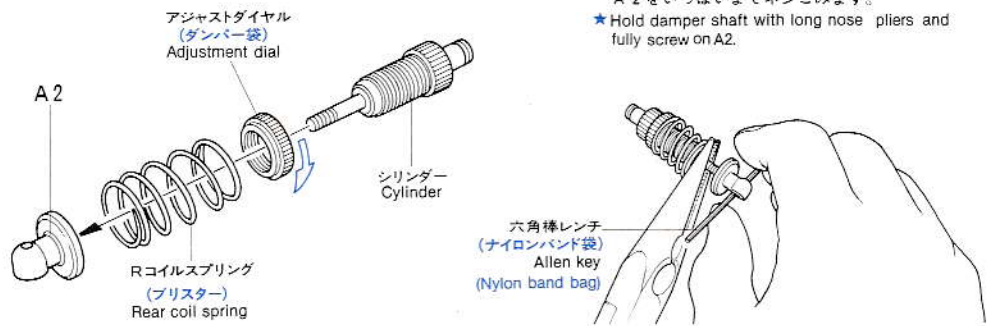
4 オイルダンパーのくみ立て
ASSEMBLY OF OIL DAMPER

《オイルの入れかた》
《How to add oil》

1. シリンダーにダンパーシャフトをいっばいまでさしこみます。
2. オイルを入れ、ダンパーシャフトを上下させ、オイルの中の気泡を抜きます。
3. Oリングをおしこみ、ダンパーキャップをネジこみます。あふれたオイルをふきとります。



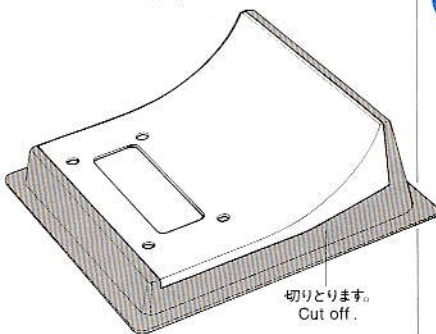
《Rコイルスプリングのとりつけ》
《Attaching rear coil spring》



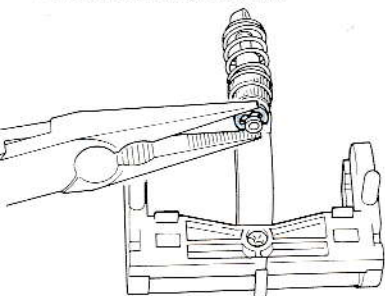
- ★ラジオペンチで、ダンパーシャフトをつかみ、A2をいっばいまでネジこみます。
- ★Hold damper shaft with long nose pliers and fully screw on A2.

5 《ギヤケースのとりつけ》

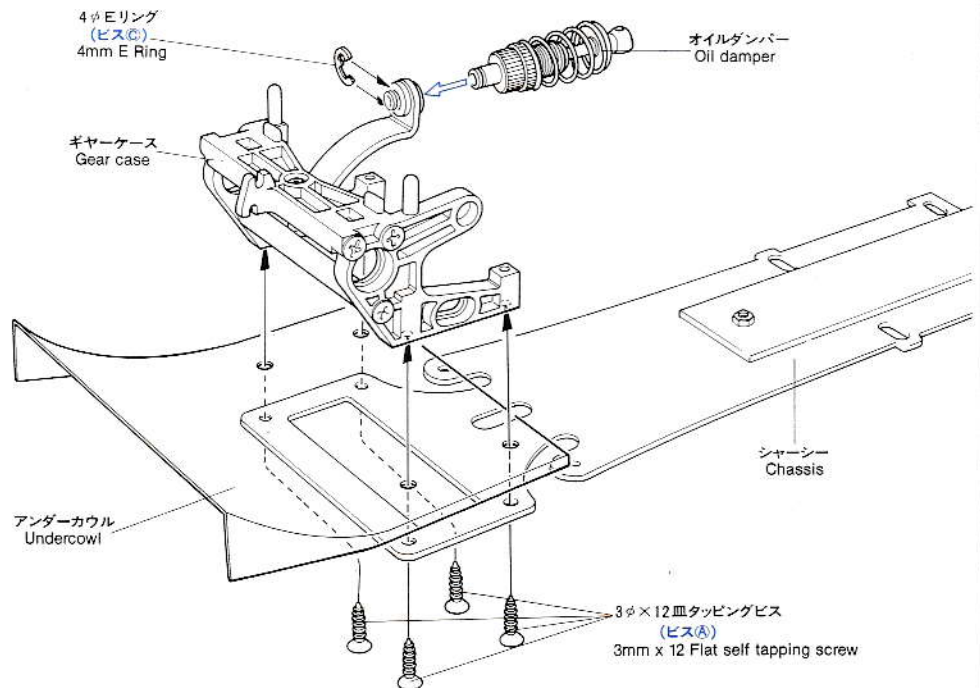
《アンダーカウルの切りとり》
下図のように切りとって使用します。
切りとりは12ページを参考にして下さい。
又1枚は予備としてお使い下さい。
《TRIMMING UNDERCOWL》
Trim undercowl referring to the figure below and on page 12.



《Eリングのとりつけ》
ラジオペンチではめこみます。
《ATTACHING E RING》
★ Snap on using long nose pliers.



5 ギヤケースのとりつけ
ATTACHING GEAR CASE

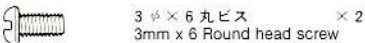


《6、7、8で使用する小物金具》

PARTS USED IN 6, 7 AND 8

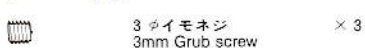
(ビス袋詰(A)より)

(Screw bag A)



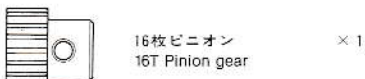
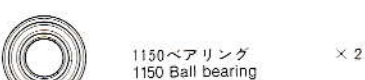
(ビス袋詰(C)より)

(Screw bag C)



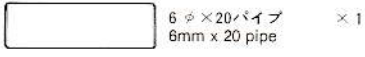
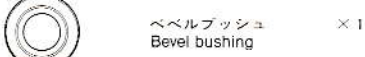
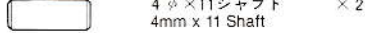
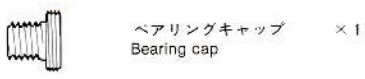
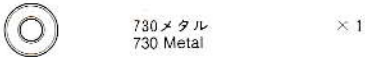
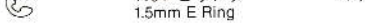
(ブリスターパックより)

(Blister pack)



(金具袋詰より)

(Metal parts bag)



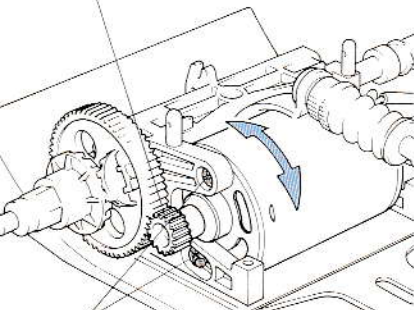
8 《モーターのとりつけ》

《ギヤの調節》

《GEAR ADJUSTMENTS》

★軽くまわるようすきを調節します。

★Allow space for gear to run smoothly.

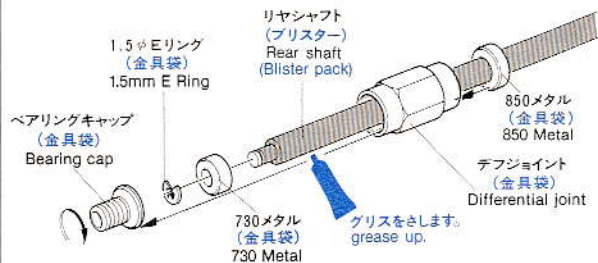


★3φ×6丸ビスをゆるめモーターを移動します。
★Loosen two 3mm x 6 round head screw then move motor into proper adjustment.



タミヤモリブテングリス
モリブデンを配合した高性能グリスです。ギヤや軸受け、ジョイント部分などにつけて動きをなめらかにし、摩擦をおさえます。

6 デフギヤのくみため ASSEMBLY OF DIFFERENTIAL GEAR

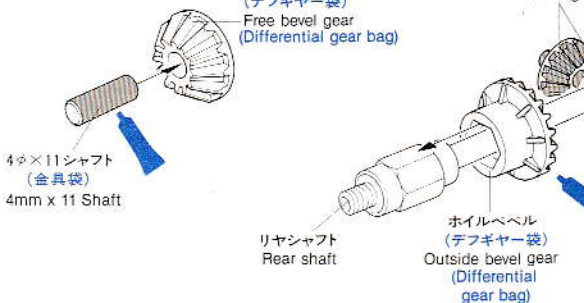


《フリーベベルのくみため》

《Free bevel gear》

★2個作ります。

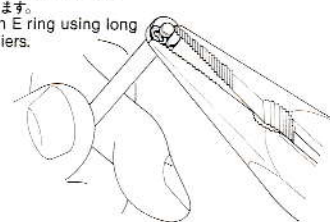
★Make 2 sets.



《Eリングのとりつけ》

《Attaching E ring》

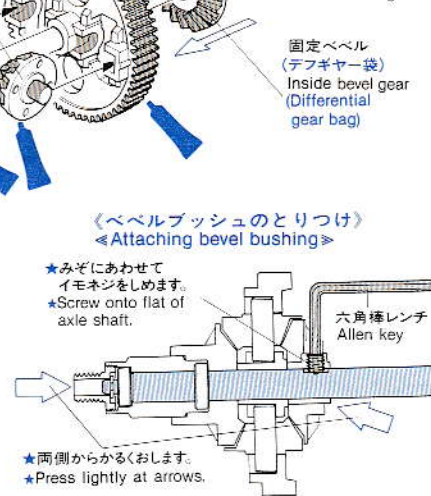
★ラジオペンチでEリングをとりつけます。
★Snap on E ring using long nose pliers.



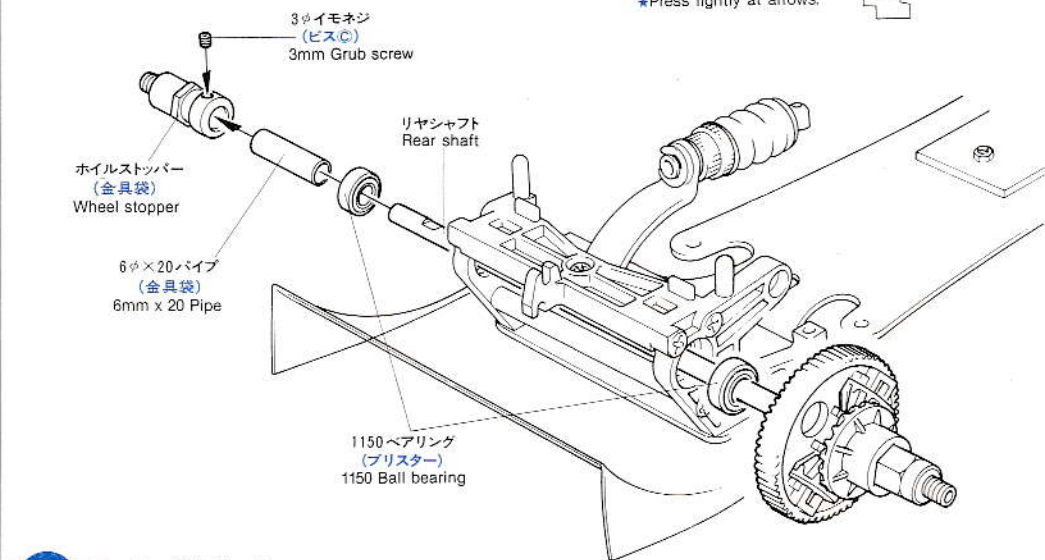
《ベベルブッシュのとりつけ》

《Attaching bevel bushing》

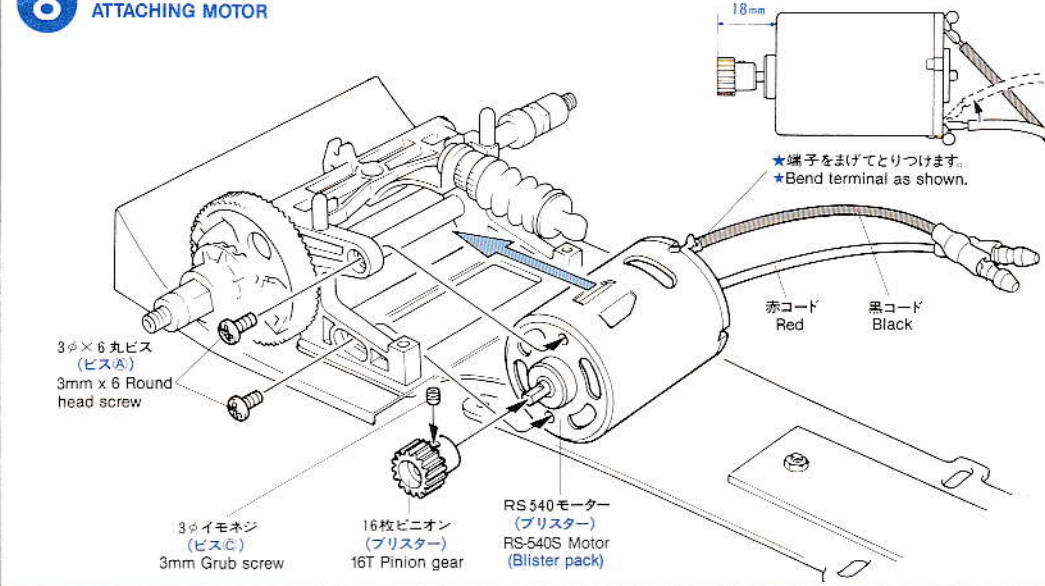
★みぞにあわせてイモネジをしめます。
★Screw onto flat of axle shaft.



7 リヤシャフトのとりつけ ATTACHING REAR SHAFT



8 モーターのとりつけ ATTACHING MOTOR



⑨、⑩、⑪で使用する小物金具)

PARTS USED IN ⑨, ⑩ AND ⑪

(ビス袋詰(A)より)
(Screw bag (A))

- 3φ×32皿ビス × 3
3mm x 32 Countersunk head screw
- 3φ×12タッピングビス × 2
3mm x 12 Self tapping screw

(ビス袋詰(B)より)
(Screw bag (B))

- 3φ×6まわり止めビス × 2
3mm x 6 Square neck screw

(ビス袋詰(C)より)
(Screw bag (C))

- 3φイモネジ × 2
3mm Grub screw
- 3φナット × 4
3mm Nut
- ボールリンク × 2
Ball pin

(プレス部品袋詰より)
(Press parts bag)

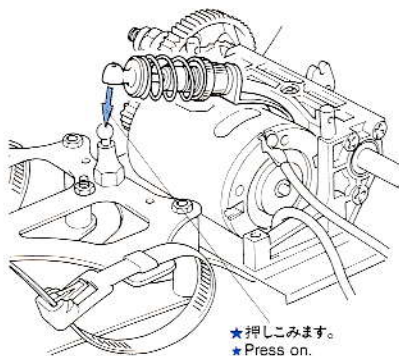
- バンドホルダー × 2
Band holder

(ダンパー部品袋詰より)
(Damper parts bag)

- F・コイルスプリング × 2
Front coil spring
- ボールマウント × 1
Ball mount
- 3φ×28シャフト × 2
3mm x 28 shaft

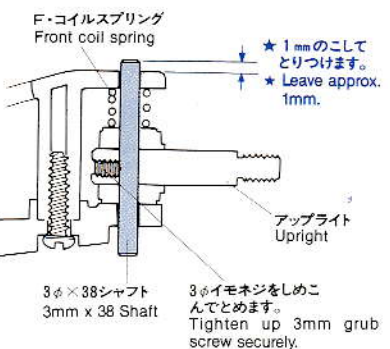
⑩ <アッパーデッキのとりつけ>

<ダンパーのとりつけ>
<<ATTACHING DAMPER>>



⑪ <フロントシャーシのくみため>

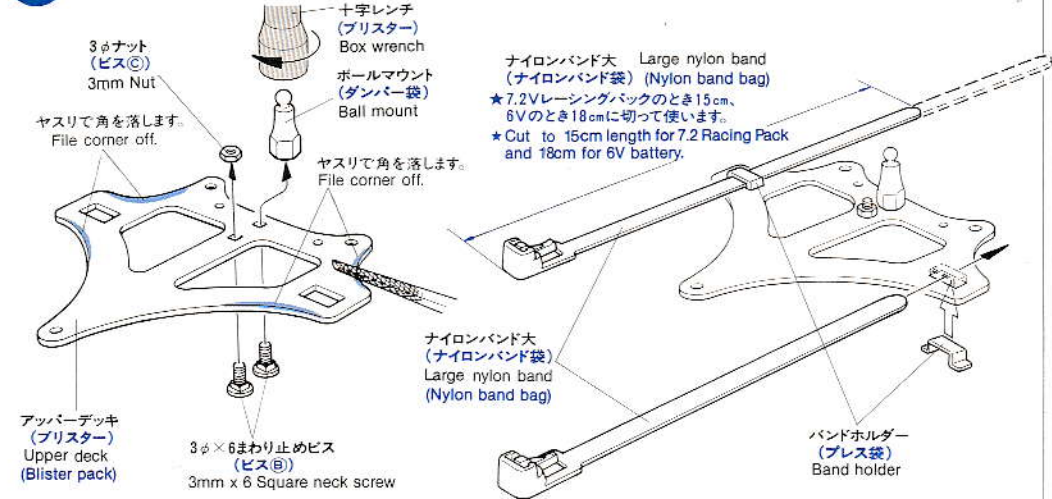
<アップライトのとりつけ>
<<UPRIGHT>>



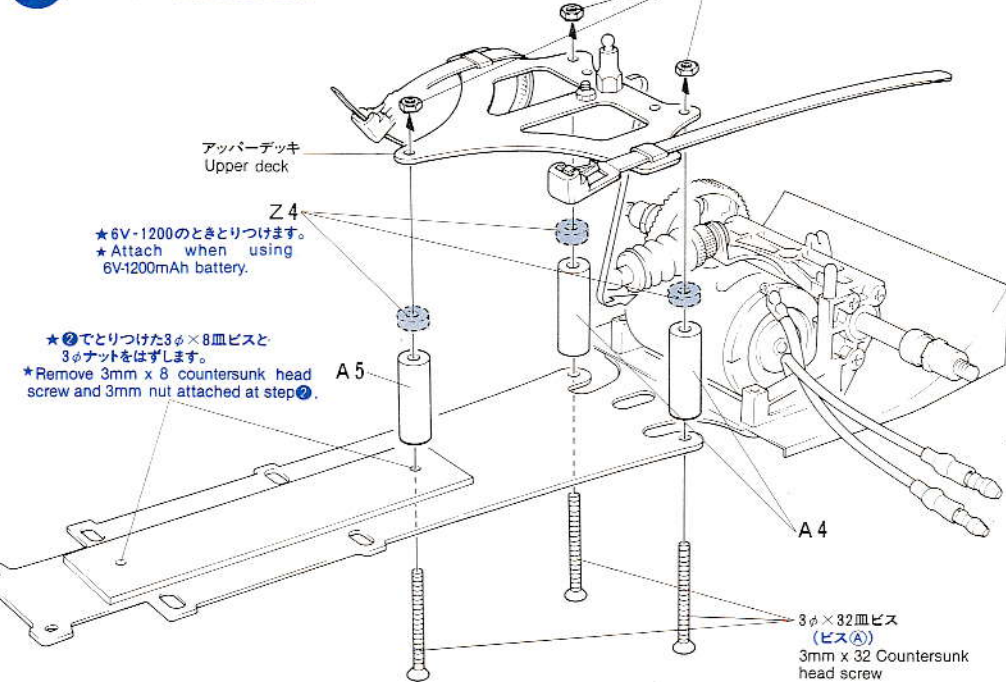
モ子ちゃんのRCガイドブック

電動ラジオコントロールの基本から、トラブルシューティングまでモ子ちゃんのご案内。漫画で覚える電動RCのすべて。ご希望の方は模型店におたずね下さい。

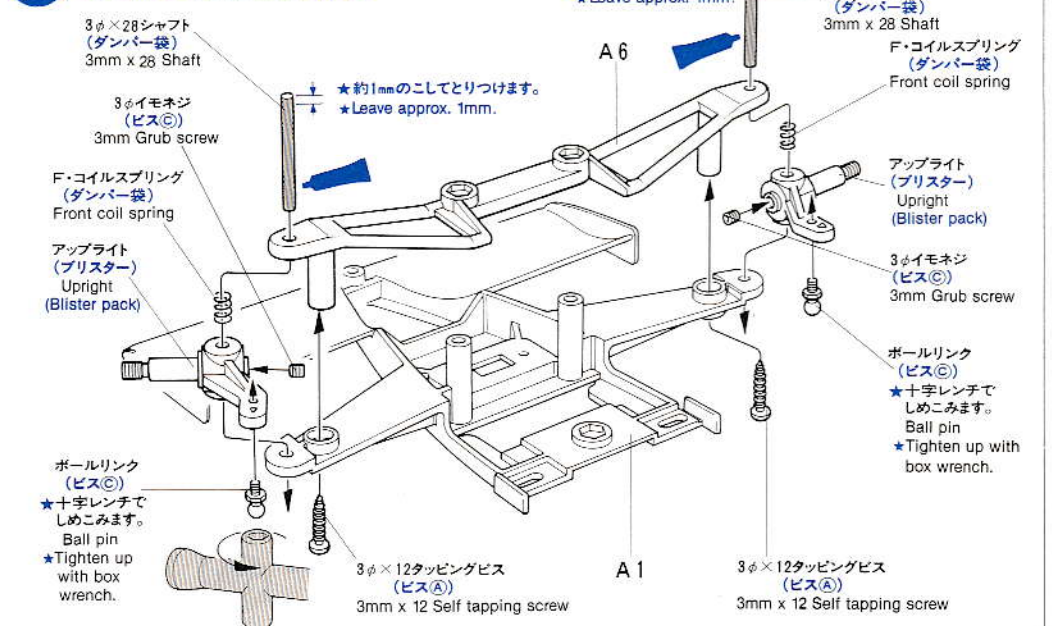
⑨ アッパーデッキのくみため
ASSEMBLY OF UPPER DECK



⑩ アッパーデッキのとりつけ
ATTACHING UPPER DECK



⑪ フロントシャーシのくみため
ASSEMBLY OF FRONT CHASSIS






⑫、⑬で使用する小物金具

PARTS USED IN ⑫ AND ⑬

(ビス袋①より)

(Screw bag (A))

-  3φ×32皿ビス × 2
3mm x 32 Countersunk head screw
-  3φ×8皿ビス × 1
3mm x 8 Countersunk head screw
-  3φ×8タッピングビス × 4
3mm x 8 Self tapping screw

(ビス袋③より)

(Screw bag (C))

-  3φナット × 3
3mm Nut
-  3φワッシャー × 4
3mm Washer
-  ボディマウント × 1
Body mount

《ラジオコントロールメカについて》

《レギュレーターについて》

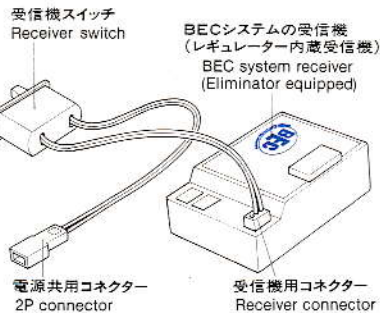
このモデルを走行させる為には、BECシステムのプロポ、又他のプロポのときはレギュレーターが必要です。レギュレーターは受信機用の電源を走行用バッテリーから安定して供給するための装置です。受信機の内部に内蔵されたタイプのほか、下図のように受信機スイッチと共に別体となっているものもあります。

《BATTERY ELIMINATOR》

A BEC system proportional unit or a battery eliminator set is required. The battery eliminator installed receiver gets power from the running battery, and provides a stable current flow. Both systems are shown below.

《BECシステムの受信機の場合》

《BEC SYSTEM RECEIVER》

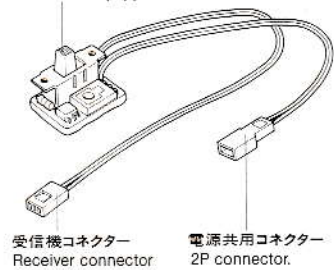


《別売のレギュレーターのとき》

《BATTERY ELIMINATOR SET》

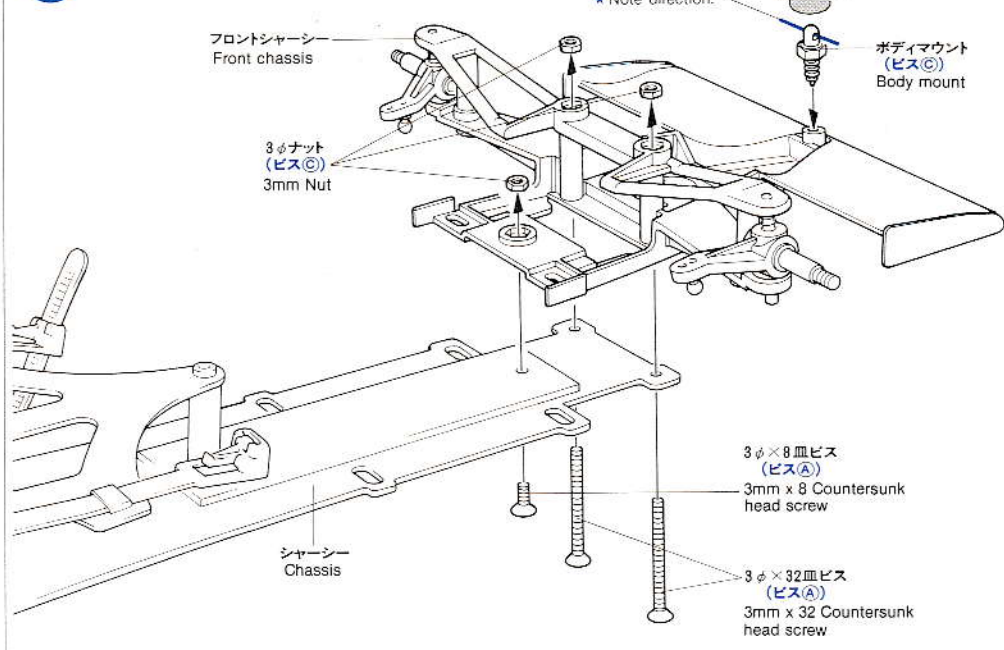
タミヤレギュレーター
Tamiya Battery Eliminator

★各プロポメーカー用が用意されています。
★Acoms, Sanwa, Futaba, JR and KO type available.
レギュレーター付受信機スイッチ
Eliminator equipped receiver switch.



★上のようなタイプ他、各プロポメーカーより、各種のレギュレーターが発売されています。
★Battery eliminators are also available from radio manufacturers.

12 フロントシャーシのとりつけ
ATTACHING FRONT CHASSIS



《BECシステムの受信機を使う場合》

《When using BEC system receiver》

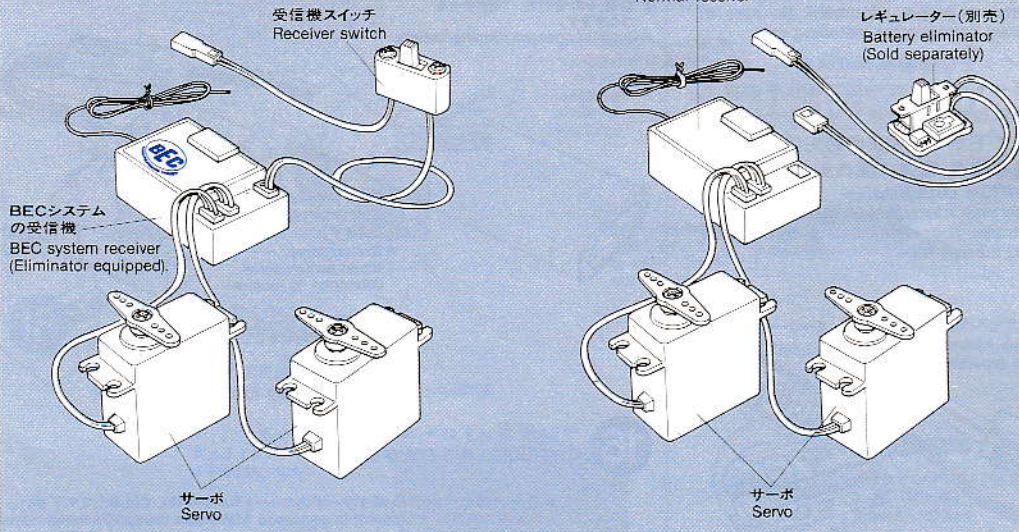
★BECシステムとは受信機にレギュレーターが内蔵されたプロポのことです。
★The battery eliminator equipped proportional unit is referred to as BEC (Battery Eliminator Circuitry) system in Japan.

《レギュレーターを内蔵していない受信機の場合》

《When using a normal receiver》

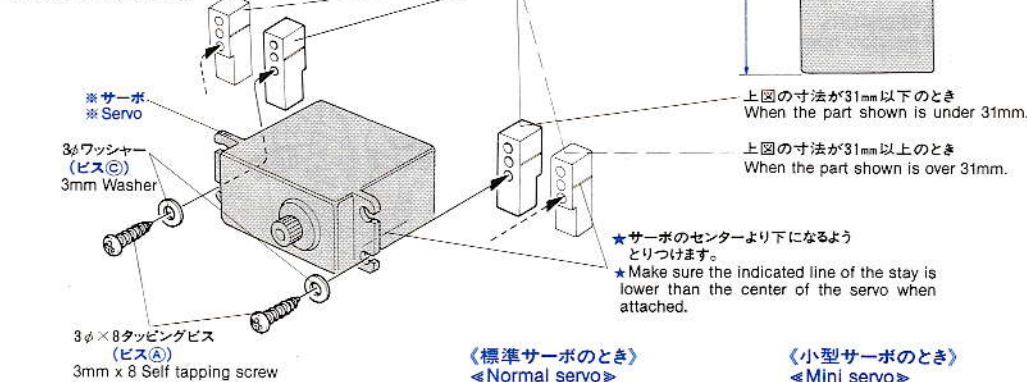
レギュレーター内蔵タイプでないプロポにレギュレーターを通さず直接スイッチからのコネクタを接続しますと受信機がこわれます。
Normal receiver

レギュレーター (別売) Battery eliminator (Sold separately)



13 サーボステーのとりつけ
ATTACHING SERVO STAY

★2個ともとりつけます。
★ Attach to both servos.



《標準サーボのとき》

《Normal servo》

《小型サーボのとき》

《Mini servo》

★14.5mm以上になるようにします。
★ Make sure it is over 14.5mm.

※の部品はキットに含まれません。
※ Indicated parts are not included in kit.

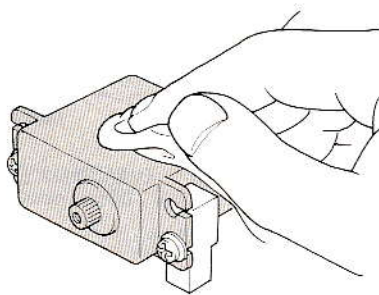
14 <スイッチのとりつけ>

<両面テープ>

両面テープをはる面はベンジンやアルコールで油をとりぬいでからはって下さい。

<DOUBLE SIDED TAPE>

Remove all dust, dirt and adhesive smears before applying tape.



15 <ラジオコントロールメカの接続>

スピードコントローラー、ステアリングの組み立てに入る前に、⑮のように配線、⑯でサーボのニュートラルを出して下さい。送信機、受信機のスイッチを入れたまま、⑰、⑱の組み立てを行えば、確実に。なお組み立てが終わったら必ず、バッテリーをはずして下さい。

<CONNECTING RADIO CONTROL UNIT>
Connect the unit as shown on step 15 and make sure the servos are at neutral according to step 16. Proceed to step 17 and 18 with the transmitter and receiver turned on to ensure proper alignment. Be sure to remove battery after installing unit.

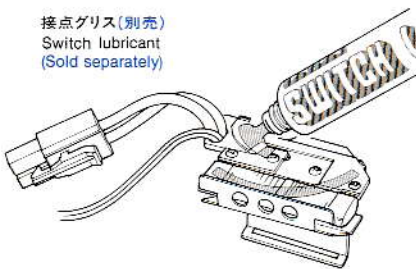
<スイッチには接点グリス>

スピードコントロールスイッチの接点部分にはタミヤ接点グリスをたっぷりつけて下さい。火花の発生による接触不良を防ぎ、電流の流れをよくします。

<SWITCH LUBRICANT>

Apply switch lubricant on contact points of controller. It prevents arcing and insures good current flow.

接点グリス(別売)
Switch lubricant
(Sold separately)



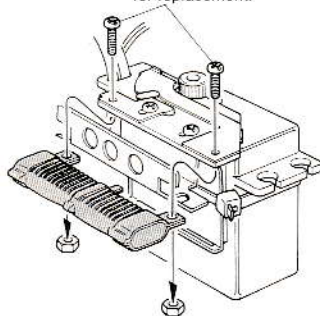
<平型レジスタの交換>

すりへったり、焼き切れた平型レジスタは、下図のようにして交換して下さい。

<CHANGING RESISTOR>

Replace worn resistors referring to the figure below.

2φビスをはずして交換します。
Remove 2mm screw for replacement.



スペアパーツNo.218平型レジスタ
Spare parts No.5218 Flat wire wound resistor

14 スイッチのとりつけ ATTACHING SPEED CONTROLLER

★サーボホーンと取り付け部の中心にあわせてスイッチをとりつけます。
★Adjust servo and cut out of speed controller to line up.

★スイッチとサーボは平行にとりつけて下さい。
★Attach speed controller in parallel with servo.

変速スイッチ
(プリスター)
Speed controller
(Blister pack)

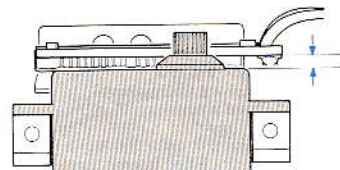
※スイッチサーボ
※ Switch servo

★しめつけ後長くてた部分は切りとります。
★Cut off excess.

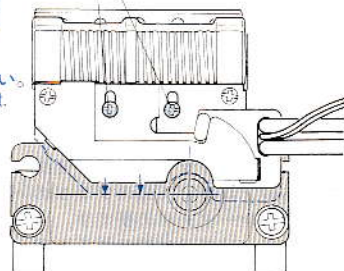
両面テープ
(ナイロンバンド袋)
Double sided tape
(Nylon band bag)

ナイロンバンド中
(ナイロンバンド袋)
Medium nylon band
(Nylon band bag)

必ず調節して下さい。
Be sure to adjust.



★2φビスをゆるめてスイッチを動かして図の位置がサーボの中心線になるようにセットします。
★Loosen two 2mm screws, and adjust position of speed controller. Let portion shown in figure stay in center line of servo.



15 ラジオコントロールメカの接続 CONNECTING RADIO CONTROL UNIT

★充電済の走行用バッテリーをつなぎます。
★Connect charged running battery.

電源共用コネクタ
2P connector

※受信機スイッチ
※ Receiver switch

※スイッチサーボ
CH2・FUN2にさしこみます。

※ Switch servo
Insert switch servo connector to receiver.

※ステアリングサーボ
CH1・FUN1にさしこみます。

※ Steering servo
Insert steering servo connector to receiver.

※受信機
※ Receiver

16 ラジオコントロールメカのチェック CHECKING R/C EQUIPMENT

★番号の順にチェックし、必ずサーボのニュートラルを確認して組み立て下さい。
★Check out R/C equipment in sequence. Make sure the servos are at neutral prior to assembly.

① 電池をセットします。
Install battery.

② アンテナをのばします。
Extend antenna.

③ 充電済の走行用バッテリーをつなぎます。
Connect charged battery.

④ アンテナをのばします。
Loosen and extend.

⑤ スイッチを入れます。
Switch on.

⑥ スイッチを入れます。
Switch on.

⑦ スティックを動かし、サーボの動きを確認して下さい。
Keep stick in neutral.

⑧ トリムレバーを中心位置におきます。
Trim levers to neutral.

⑨ スティックが中心位置のとき、とまっている場所がサーボのニュートラル位置です。
Servos in neutral position.

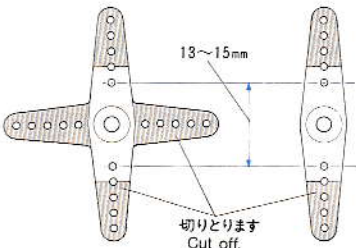
17 《スイッチアームのとりつけ》

《サーボホーンの工作》

サーボホーンは各メーカーにより色々な形がありますが、穴の位置を変えたり、切りとることにより使用できます。下図を参考にしてお使い下さい。

《SERVO HORN》

The shape of servo control horns vary from manufacturer to manufacturer. Cut off unneeded area of your servo horns as shown.



《17、18で使用する金具小物》
PARTS USED IN 17 AND 18

(ビス袋詰 A) (Screw bag A)

3φ×12タッピングビス × 1
3mm x 12 Self tapping screw

(ビス袋詰 B) (Screw bag B)

2.6φ×10タッピングビス × 1
2.6mm x 10 Self tapping screw

2φ×8丸ビス × 2
2mm x 8 Round head screw

2φナット × 2
2mm Nut

2φワッシャー × 2~6
2mm Washer

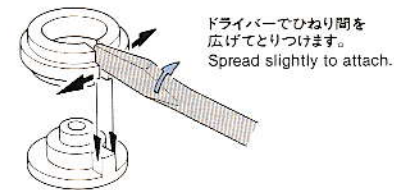
(ナイロンバンド袋詰り) (Nylon band bag)

アジャスター × 2
Adjuster

18 《サーボセーバーのくみ立て》

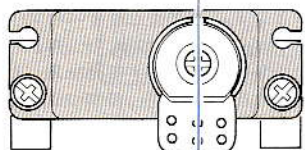
《S6のとりつけ》

《ATTACHING S6》



ドライバーでひねり間を広げてとりつけます。
Spread slightly to attach.

《サーボセーバーのとりつけ角》
《ATTACHING SERVO SAVER》



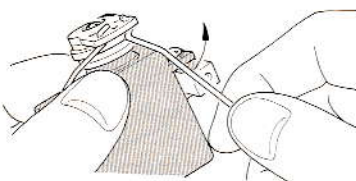
★サーボがニュートラルのとき図のようにセットして下さい。
★ Attach servo saver as shown with servo at neutral.

《タイロッドのとりつけ》

さし込んで矢印の方向におこみます。

《ATTACHING TIE ROD》

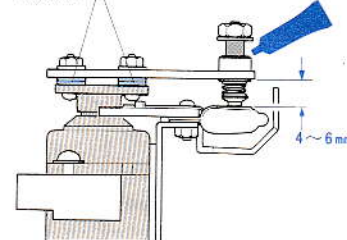
Insert rod and move as shown.



17 スイッチアームのとりつけ

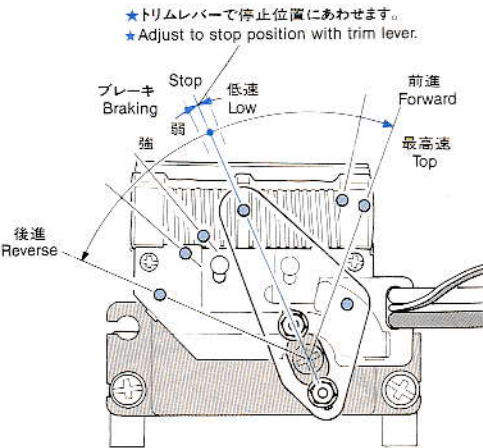
ATTACHING SWITCH ARM

★スイッチアームとスイッチの間が4mm以下のときは2φワッシャーをはさんで調整します。
★ If the space between speed controller arm and speed controller is less than 4mm, use 2mm washer.

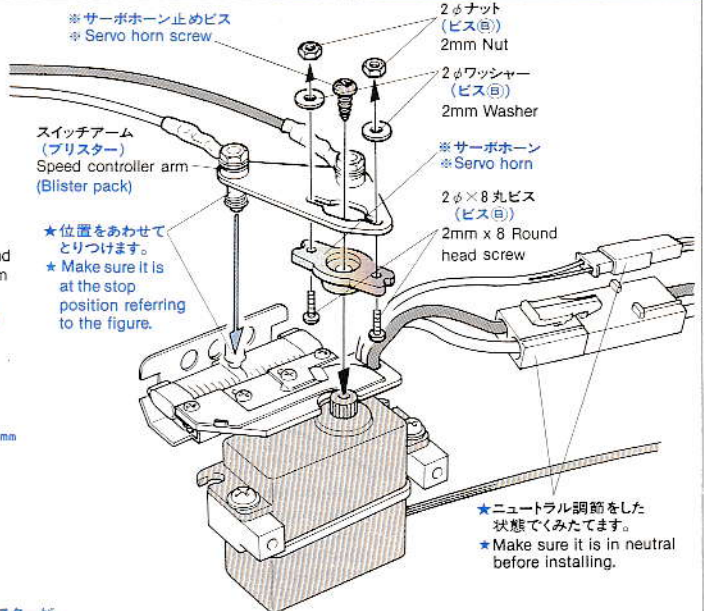


《スイッチのポジション》

★中速、低速で長い時間走行させると平型レジスターが焼き切れます。必ず最高速になるよう調整して下さい。
《Position of speed controller》
★ Long running at middle and low speed makes resistor very hot.



★トリムレバーで停止位置にあわせませす。
★ Adjust to stop position with trim lever.



★位置をあわせてとりつけます。
★ Make sure it is at the stop position referring to the figure.

《サーボのストローク調節》
《Adjusting servo stroke》

★サーボのストロークがたりないときは矢印側にアームを移動させます。
★ Move arm in the direction of arrow to lengthen servo stroke.

2φナットをゆるめて調整します。
Loosen 2mm nut to adjust.

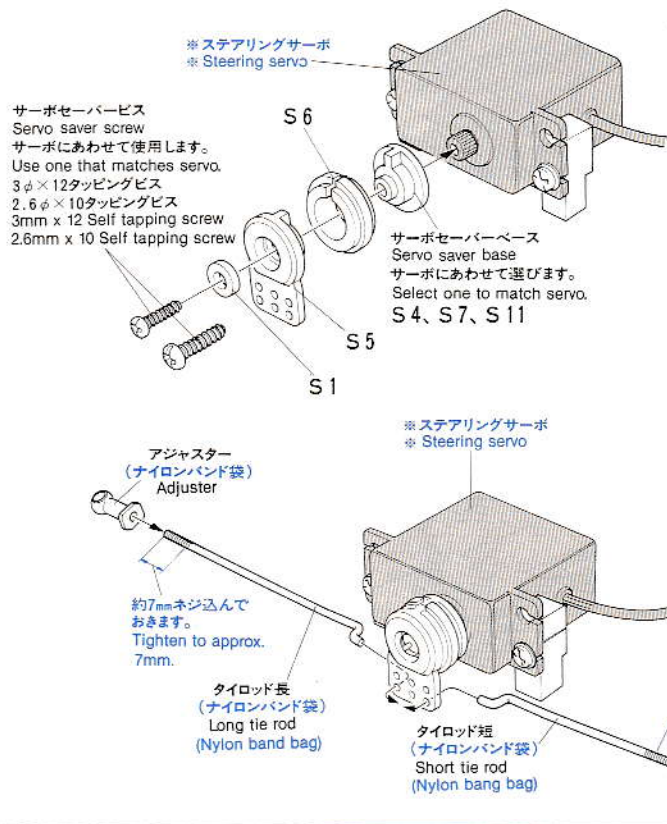
★サーボのストロークが多いときは矢印側にアームを移動させます。
★ Move arm in the direction of arrow when servo stroke is too long.

2φナットをゆるめて調整します。
Loosen 2mm nut to adjust.

18 サーボセーバーのくみ立て

ASSEMBLY OF SERVO SAVER

★ニュートラル調節をした状態でくみ立てます。
★ Make sure the servos are at neutral before installing.



サーボセーバーベース
Servo saver base

サーボセーバービス
Servo saver screw

フタバ FUTABA

S4



2.6φ×10タッピングビス (ビスB)
2.6mm x 10 Self tapping screw

サンワ SANWA

アコムス ACOMS

JR, KO



3φ×12タッピングビス (ビスA)
3mm x 12 Self tapping screw

サンワ SANWA

S11



2.6φ×10タッピングビス (ビスB)
2.6mm x 10 Self tapping screw

⑬、⑳で使用する小物金具)
PARTS USED IN ⑬ AND ⑳

(ビス袋①より)
(Screw bag ①)

3φ×10皿タッピングビス × 4
3mm x 10 Flat self tapping screw

(ビス袋②より)
(Screw bag ②)

2φ×4丸ビス × 4
2mm x 4 Round head screw

2φナット × 4
2mm Nut

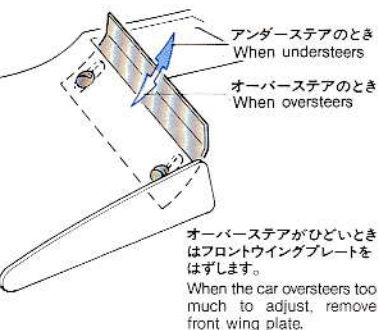
20 アジャスターのとりつけ

《フロントウイングの調節》

フロントウイングは、路面状態により調節できます。走行させて調節して下さい。

《ADJUSTING FRONT WING》

Test run the car and adjust front wing according to road conditions.

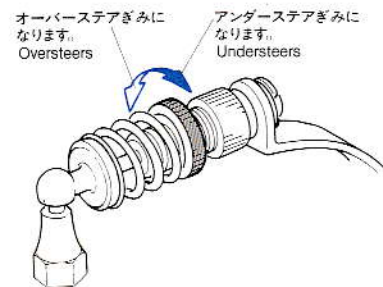


《ダンパーの調節》

アジャストダイヤルをまわすことで調節できます。フロントウイングとあわせて、セッティングして下さい。

《ADJUSTING DAMPER》

Damper can be adjusted at adjustment dial.



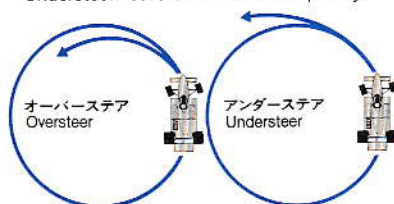
《オーバーステアとアンダーステア》

オーバーステア：ステアリングをきつた以上に、まがりこみます。

アンダーステア：ステアリングをきつても思ったよりまがりません。

《OVERSTEER & UNDERSTEER》

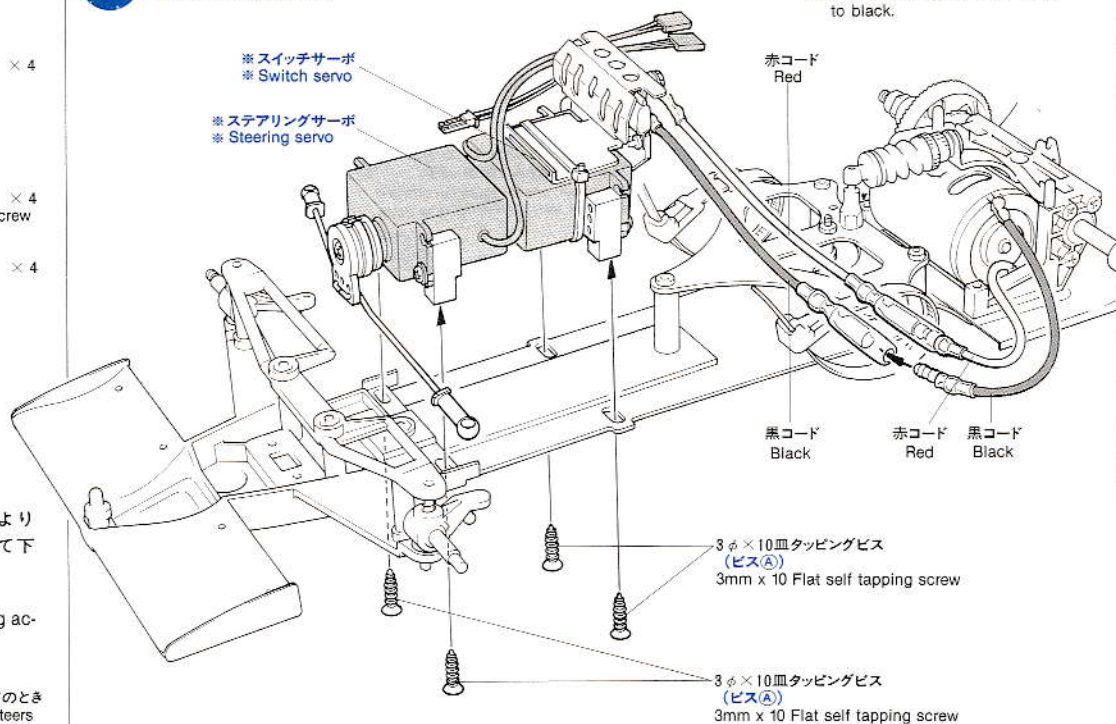
Oversteer: Cars that turn excessively.
Understeer: Cars that turn inadequately.



R/C GUIDE BOOK

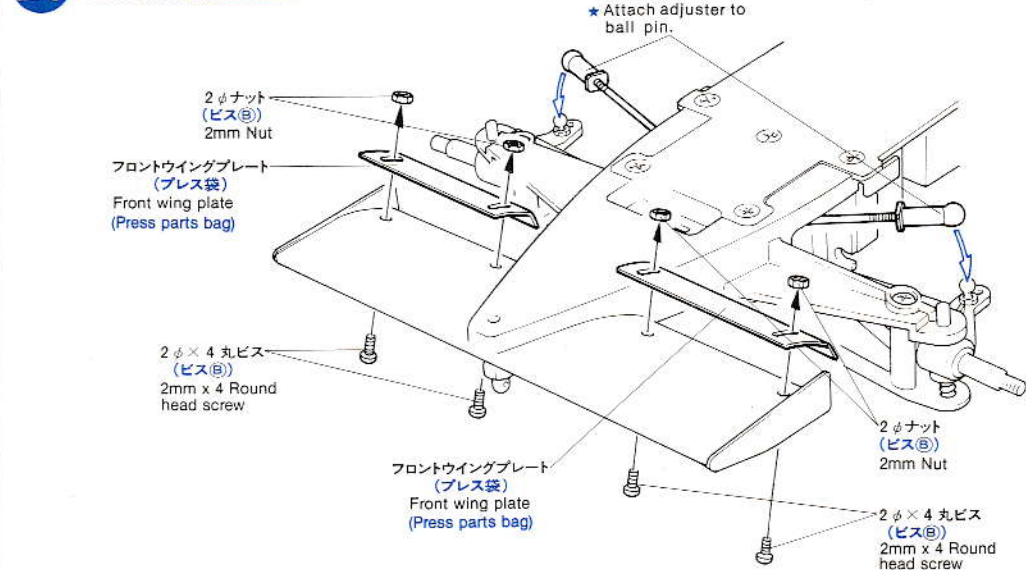
Tamiya's newest R/C Guide Book has all of the latest information concerning the installation and operation of R/C equipment and helpful hints on the care of your R/C cars, buggies and tanks.

19 サーボのとりつけ
ATTACHING SERVO



★赤コードと赤コード、黒コードと黒コードをつなぎます。
★Connect red to red and black to black.

20 アジャスターのとりつけ
ATTACHING ADJUSTER



★アジャスターをボールリンクにはめます。
★Attach adjuster to ball pin.

21 ステアリングの調整
ADJUSTMENT OF STEERING

《アジャスターのはずしかた》

《Removing adjuster》

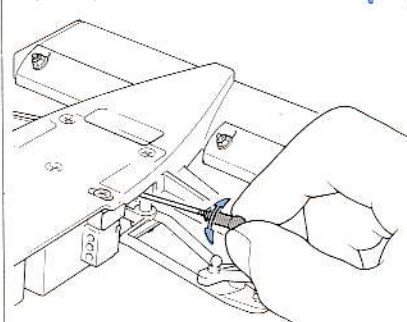


《ロッドの長さの調節》

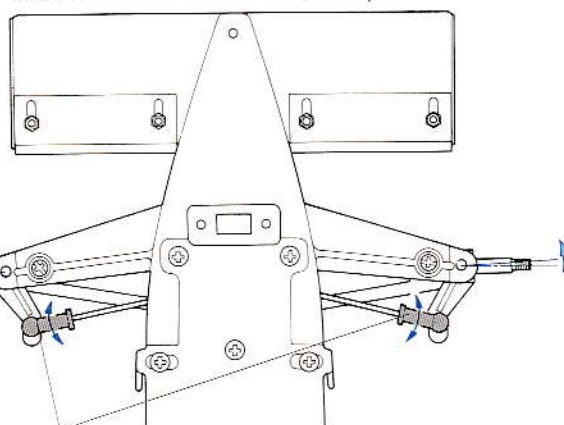
アジャスターを回転させ長さを調整します。

《Adjusting rod length》

Adjust length by rotating adjuster.



★必ずサーボのニュートラルを確認して下さい。
★Make sure to check servo neutral first, then adjust.



★アップライトが前に少しかたむくようタイロッドの長さを調整します。
★Adjust length of rods so uprights incline a little forward.

★少しのずれはトリムレバーで調節できます。
★Use trim levers for final adjustments.

⑳、㉑で使用する小物金具
PARTS USED IN ⑳ AND ㉑

(ビス袋詰⑩より)
(Screw bag ⑩)

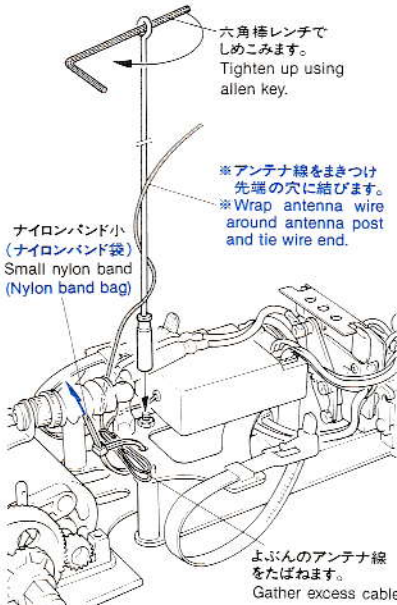
- 2φ×8丸ビス × 2
2mm x 8 Round head screw
- 2φナット × 2
2mm Nut

(ナイロンバンド袋詰より)
(Nylon band bag)

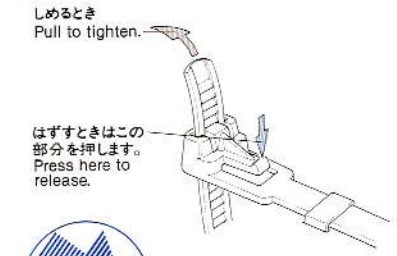
- 5φ×3アルミカラー × 2
5mm x 3 Aluminum collar

㉓ 《走行用バッテリーの搭載》

《アンテナポストのとりつけ》
《ATTACHING ANTENNA POST》



《ナイロンバンド大の使いかた》
《HOW TO USE LARGE NYLON BAND》



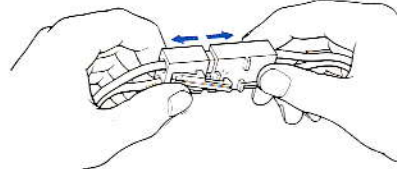
注意して下さい。
CAUTION

走行させない時は必ず走行用バ
ッテリーのコネクターを外して下さい。

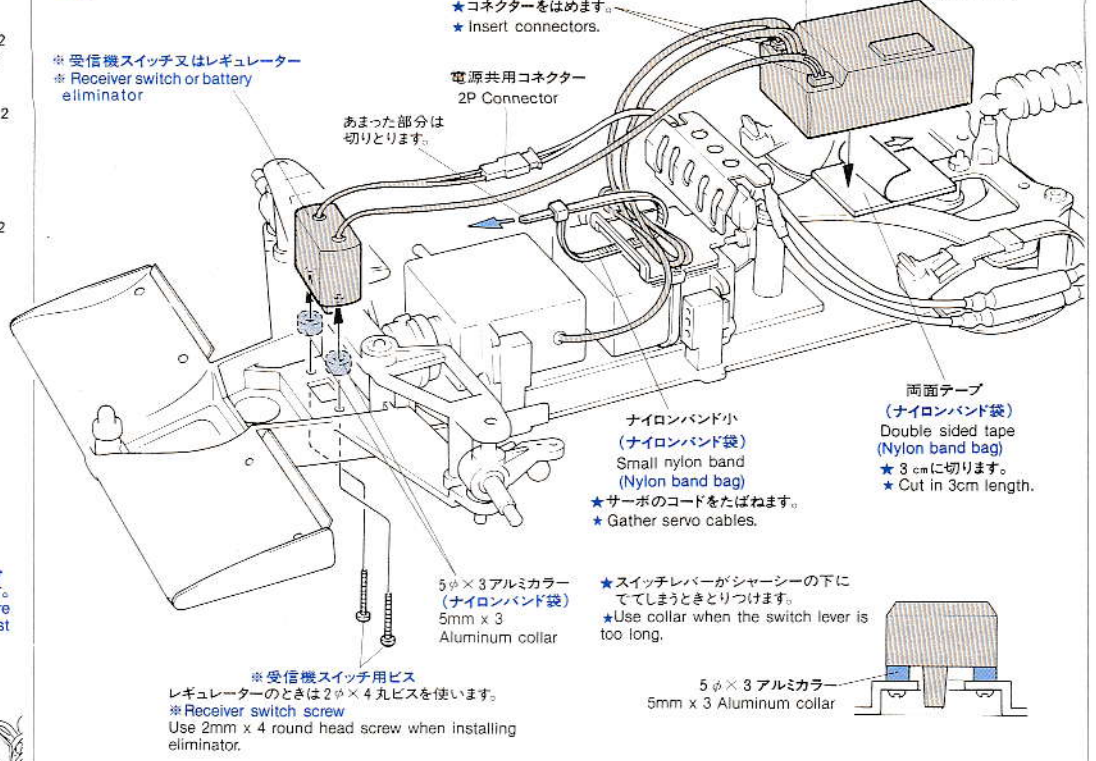
走行用バッテリーをつけたままでお
くと、スピードコントロールスイッチが
動いた時には、抵抗がひどく熱くなっ
たり、車が暴走することがあります。
走らせない時は、必ず走行用バッテ
リーはコネクターを抜き、車から外し
ておいて下さい。

DISCONNECT BATTERY CONNECTOR
WHEN NOT USING THE CAR.

Disconnect Ni-Cd battery when car is
not being used. If left connected, a
slight movement of the speed controller
can cause tremendous heat buildup in
the resistor, causing a fire or damage to
the model. Be sure to disconnect the
battery and remove it from the vehicle
prior to storing away.

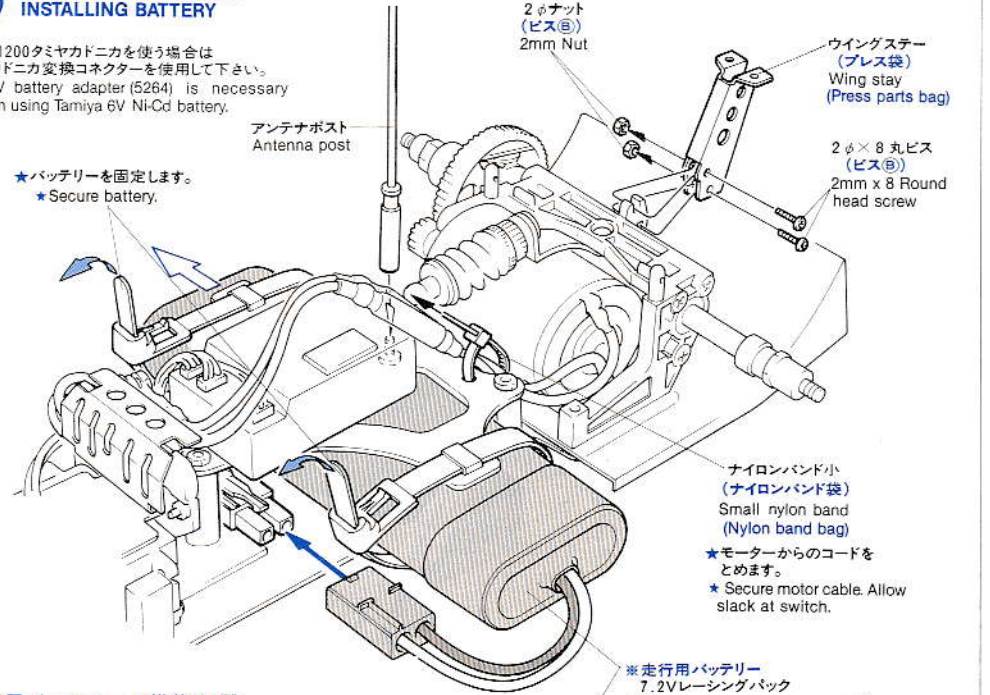


㉒ 受信機のとつけ
ATTACHING RECEIVER

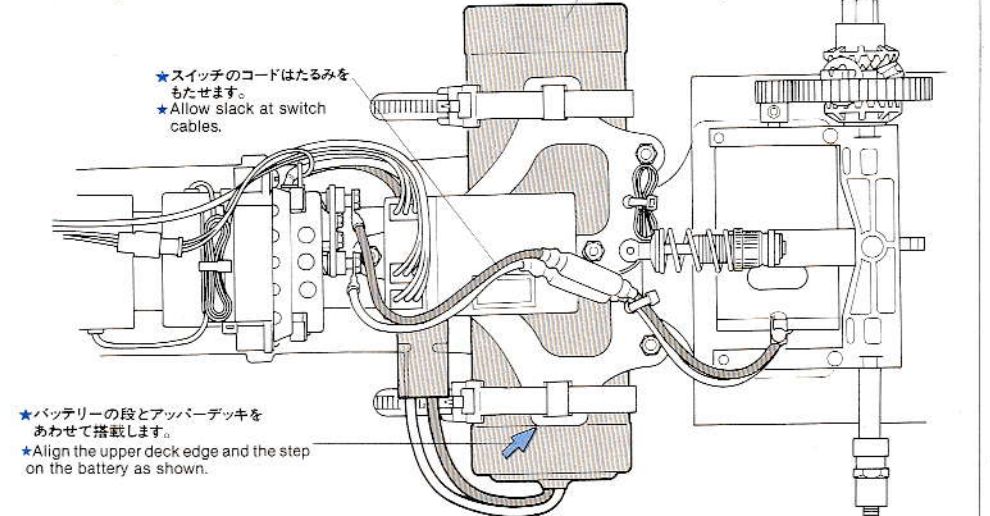


㉓ 走行用バッテリーの搭載
INSTALLING BATTERY

- ★6V-1200タミヤカドニカを使う場合は
6Vカドニカ変換コネクターを使用して下さい。
- ★A 6V battery adapter (5264) is necessary
when using Tamiya 6V Ni-Cd battery.



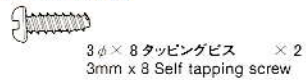
《走行用バッテリーの搭載位置》
《Positioning battery》



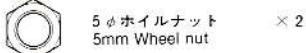
《24、26で使用する小物金具》

PARTS USED IN 24 AND 26

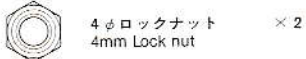
(ビス袋詰(A)より)
(Screw bag (A))



(ビス袋詰(B)より)
(Screw bag (B))



(ビス袋詰(C)より)
(Screw bag (C))



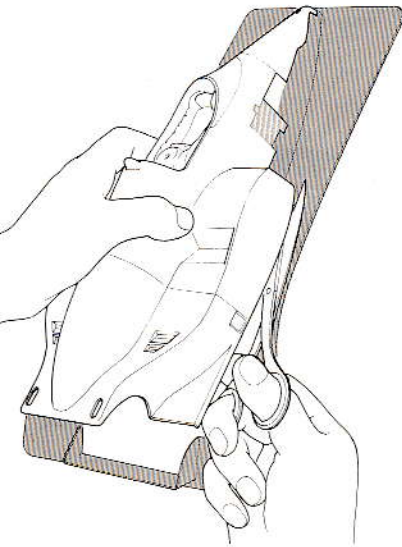
(金具袋詰より)
(Metal parts bag)



25 《ボディの切りとり》

★図の黒く塗られた部分を切りとり、指示された穴をあけて下さい。

★ Cut off shaded parts and drill holes as shown at right.



《ロードウィザードの塗装について》

ロードウィザードにはタミヤオリジナルステッカーのほか、J.P.S. ロータス、ウィリアムズホンダ用のマークも用意。ボディは2台分入っていますので選んで仕上げて下さい。ボディ、リヤウイングはポリカーボネート塗料で、ドライバー、リヤウイングサイド版はプラモデル用塗料で塗装して下さい。なお、フロントウイングは材質を弱める場合がありますので塗装しないで下さい。★塗装方法はボディ台紙を参考にして下さい。

《PAINTING THE ROAD WIZARD》

The kit includes 3 types of stickers. Tamiya original, J.P.S. Lotus and Williams Honda, and also bodies. Paint in your own colorful scheme. Paint body and rear wing using polycarbonate paints. Figure and rear wing panel with plastic paints. Do not paint front wing as paint will not adhere well to surface.

★ Refer to the card paper with the body for painting procedures.

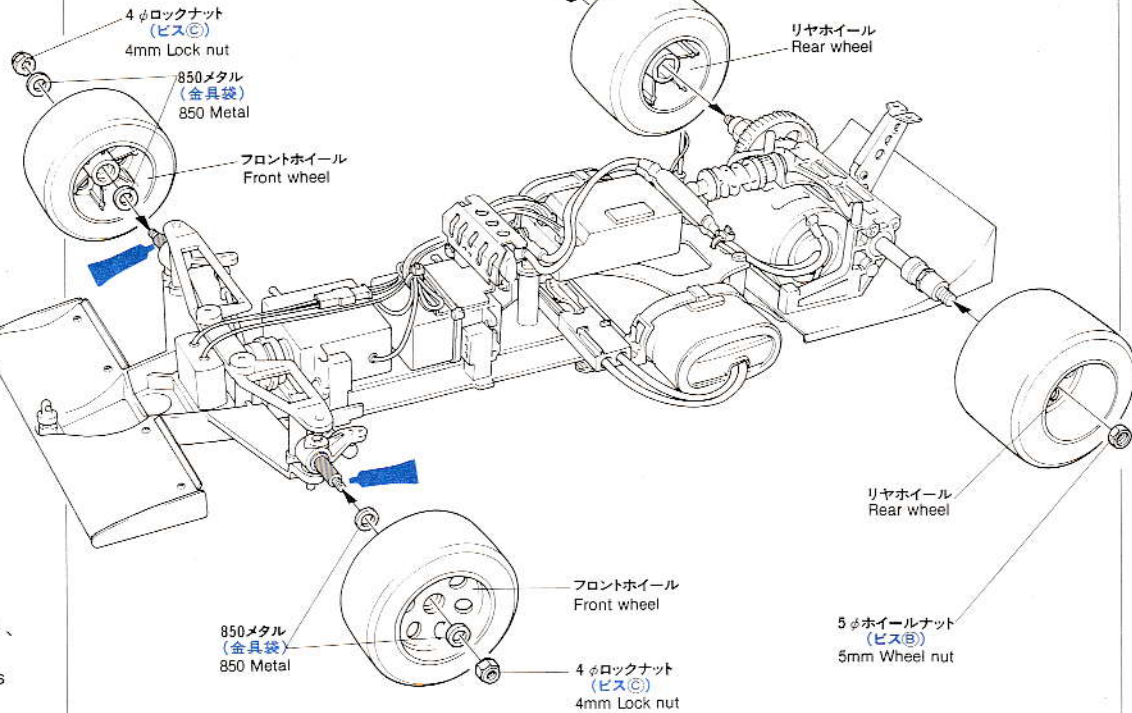
TAMIYA COLOR

タミヤカラー(ポリカーボネート用)



RCカーのクリアーボディ用筆塗り塗料です。吹付けもOK。衝突などにはがれにくく、筆など水洗いで、手軽に使えます。全12色。

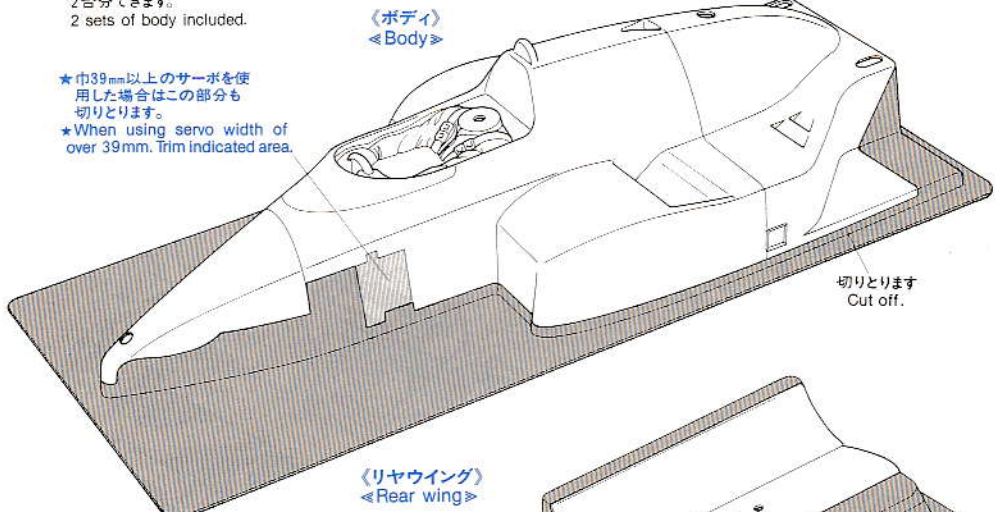
24 ホイールのとりつけ
ATTACHING WHEEL



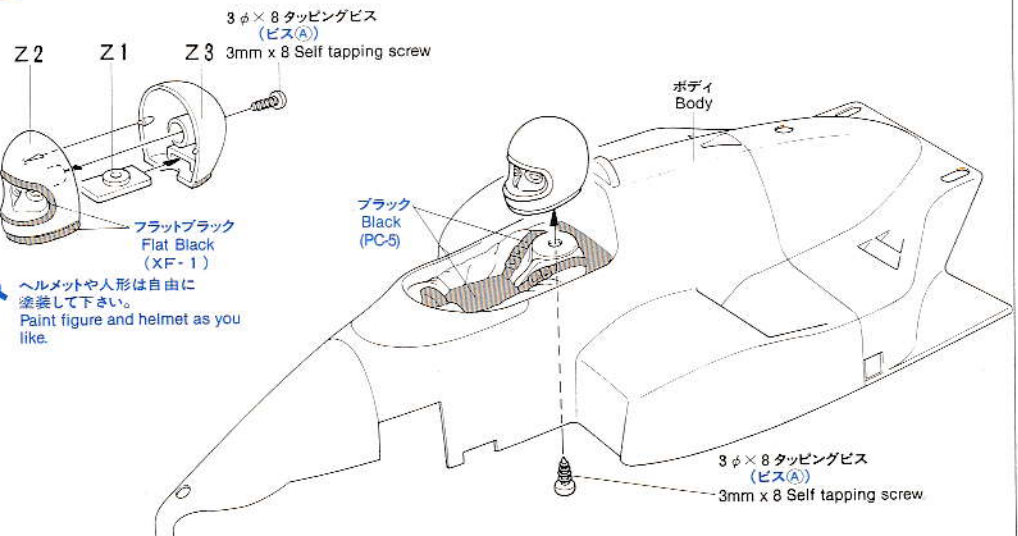
25 ボディの切りとり
TRIMMING OF BODY

2台分できます。
2 sets of body included.

★巾39mm以上のサーボを使用した場合この部分も切りとります。
★ When using servo width of over 39mm. Trim indicated area.

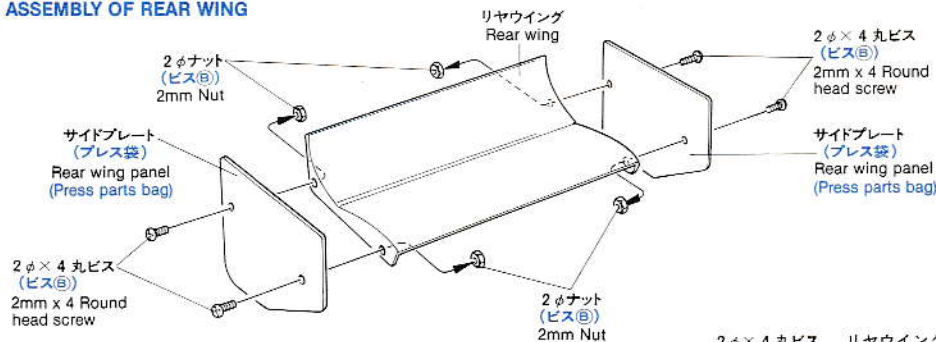


26 ヘルメットのとりつけ
ATTACHING HELMET

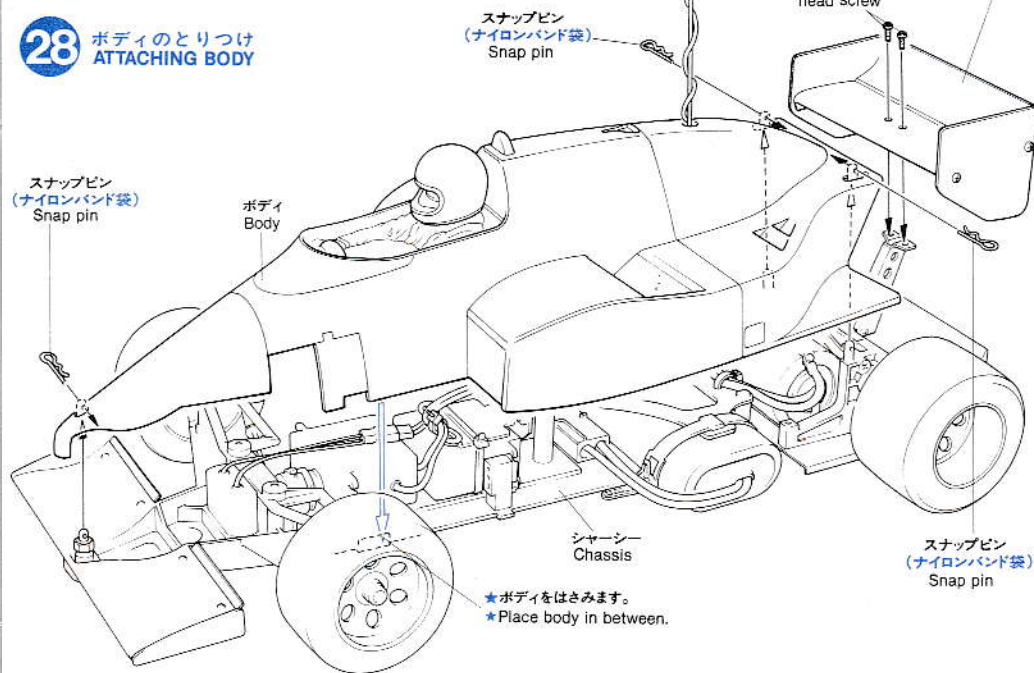


ヘルメットや人形は自由に塗装して下さい。
Paint figure and helmet as you like.

27 リヤウイングのくみため
ASSEMBLY OF REAR WING

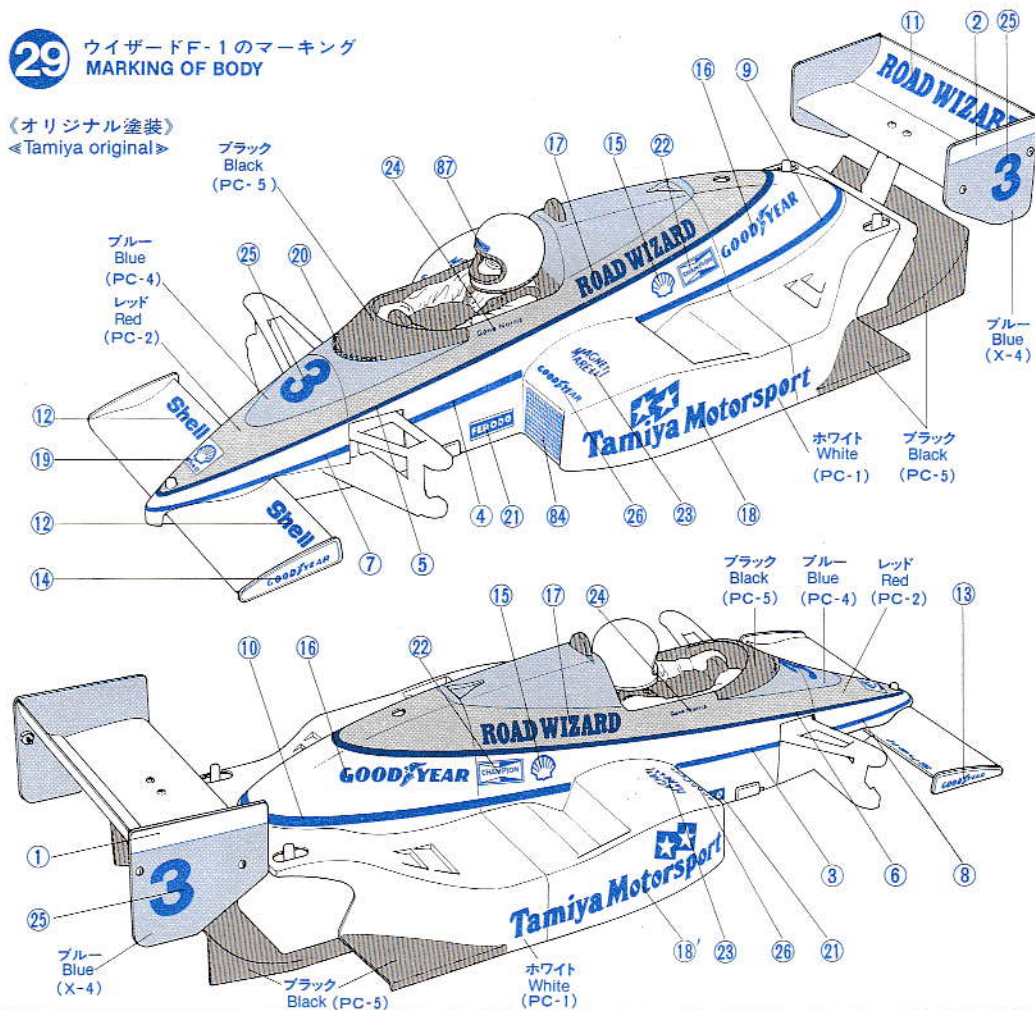


28 ボディのとりつけ
ATTACHING BODY



29 ウィザードF-1のマーキング
MARKING OF BODY

《オリジナル塗装》
《Tamiya original》



《②⑧で使用する小物金具》
PARTS USED IN ② AND ⑧

(ビス袋詰⑧より)
(Screw bag ⑧)

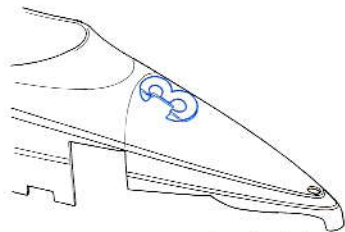
- 2φ×4丸ビス (ビス⑧) 2mm x 4 Round head screw × 6
- 2φナット 2mm Nut × 4

(ナイロンバンド袋詰り)
(Nylon band bag)

- スナップピン Snap pin × 3

《STICKERS》

1. Cut stickers along colored edge so the transparent film is removed.
2. Peel off the end of lining a little and put the decal in position on the body.



3. Then, remove the lining slowly. In so doing, be careful that the decal does not move out of position and that air is not trapped under it. If the lining is completely removed in advance, the decal may be wrinkled or contain unwanted air bubbles.

《使用できるスペアパーツ》

お近くの模型店・ラジコン専門店でもお求め下さい。又当社アフターサービスでもお求めいただけます。

- No.170 ナイロンバンドセット.....320円
- No.171 耐熱両面テープセット.....420円
- No.174 16T・17Tアルミニオンセット.....370円
- No.189 ブラックモーター スプリント.....3,240円
- No.195 スチールアンテナ.....320円
- No.197 スナップピンセット.....270円
- No.200 ブラックモーター エンデュランス.....3,240円
- No.204 ダイレクトサーボセーバー.....470円
- No.215 956リヤシャフト.....670円
- No.218 平型レジスター.....670円
- No.225 マブチRX-540SD テクニパワーモーター.....4,740円
- No.230 マブチRX-540SD テクニチューンモーター.....4,740円
- No.232 ナイロンアップライト 2個セット.....470円
- No.242 850ベアリングセット.....1,020円
- No.248 デフジョイント・ベアリングセット.....1,120円
- No.249~252, No.261, 262 タミヤレギュレーター (各社タイプ).....820円
- No.264 6Vカドニカ変換コネクター.....370円
- No.277 スポンジタイヤ前輪E.....840円
- No.278 スポンジタイヤ後輪J.....1,040円
- No.279 F-1フロントシャーシセット.....940円
- No.280 F-1スピードコントローラーセット.....1,640円

★アフターサービスカードは裏面にあります。

住所

電話 ()

名前

0586 KIT NO. 5853



静岡市小島628 〒422

《マークのはりかた》

マークは、ステッカー式のシールになっています。

①できるだけ余白を残さずに、印刷された部分を切り抜いて下さい。番号のついたマークは切りとってしまうとまちがえやすいのでは順に切りとって下さい。

②裏紙の端の部分の部分を少し切りとり指定された場所にはりあわせて下さい。裏紙をつけたまま位置をあわせて下さい。

③少しずつ裏紙をはがしながら場所がずれたり、マークの中に気泡が残ったりしないように注意しながらはってゆきます。

裏紙を一度に全部はがしてはることは、しわができたり気泡が残ったりする原因となります。

★部品請求にはこのカードが必要です。部品請求をなさる方はあなたの氏名、住所、郵便番号(できれば電話番号)を1字ずつはつきりとお書き下さい。

ROAD WIZARD F-1

部品を紛失したり、破損なされた方は、このカードの必要部品を丸でかこみ代金を現金書留又は定額為替で田宮模型アフターサービス係までお申し込み下さい。500円以下の部品請求には、切手で代用できます。

ボディ・ウイング・アンダーカウル (1台分)	1,800円
シャーシー	1,000円
アッパーデッキ	500円
A 部品	800円
B 部品	500円
S 部品 (SP.No.204)	470円
Z 部品	300円
フロントタイヤ・1台分 (SP.No.277)	840円
リアタイヤ・1台分 (SP.No.278)	1,040円
ビス袋詰A	300円
ビス袋詰B	300円
ビス袋詰C	300円
ナイロンバンド袋詰	600円
プレス部品袋詰	900円
ウイングステー	300円
フロントウイングプレート (2コ)	300円
バンドホルダー (2コ)	100円
サイドプレート (2枚)	200円
ダンパー部品袋詰	800円
金具袋詰	900円
850メタル (4コ)	200円
リヤコイルスプリング	200円
6φ×56アルミステー	200円
アップライト・ボールリンク付 (2コ)・(SP.No.232)	470円
デフギヤー袋詰・4φ×11シャフト付 (SP.No.173)	620円
リヤシャフト (SP.No.215)	670円
16枚ピニオン	200円
スイッチ・スイッチアーム (SP.No.280)	1,640円
ステッカー-A	350円
ステッカー-B	350円

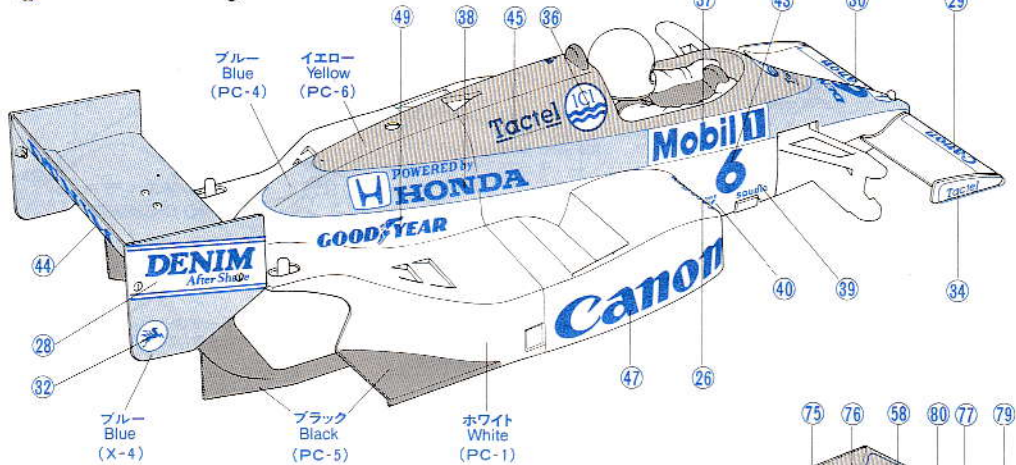
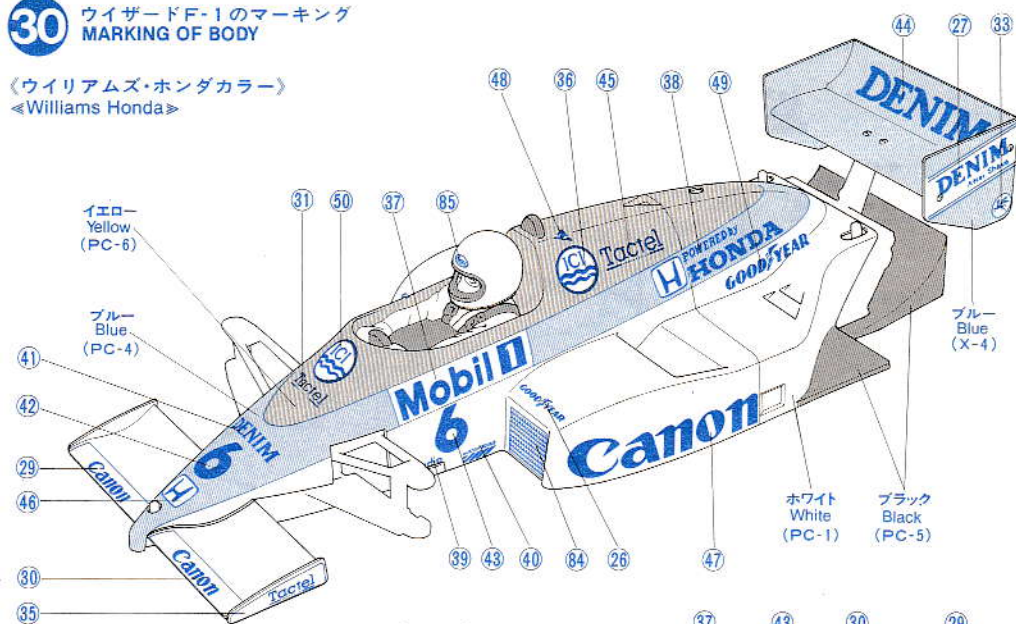
0586

KIT NO. 5853

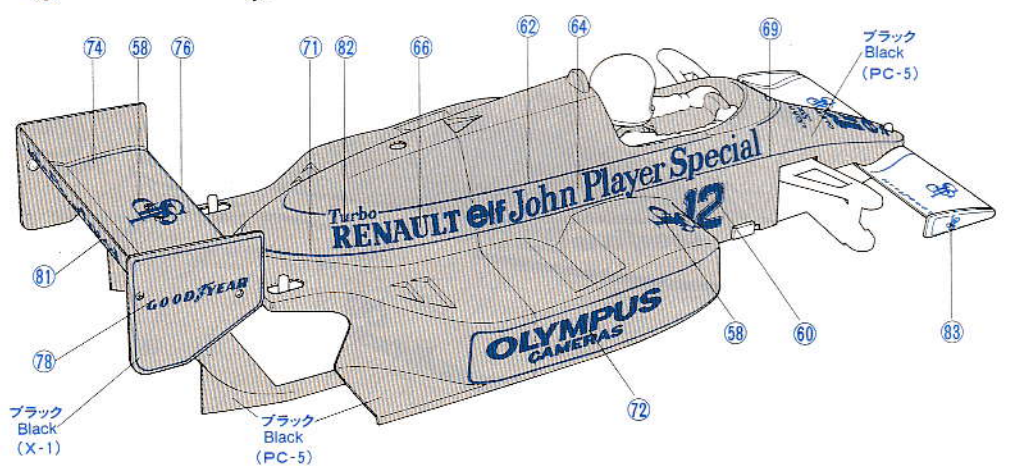
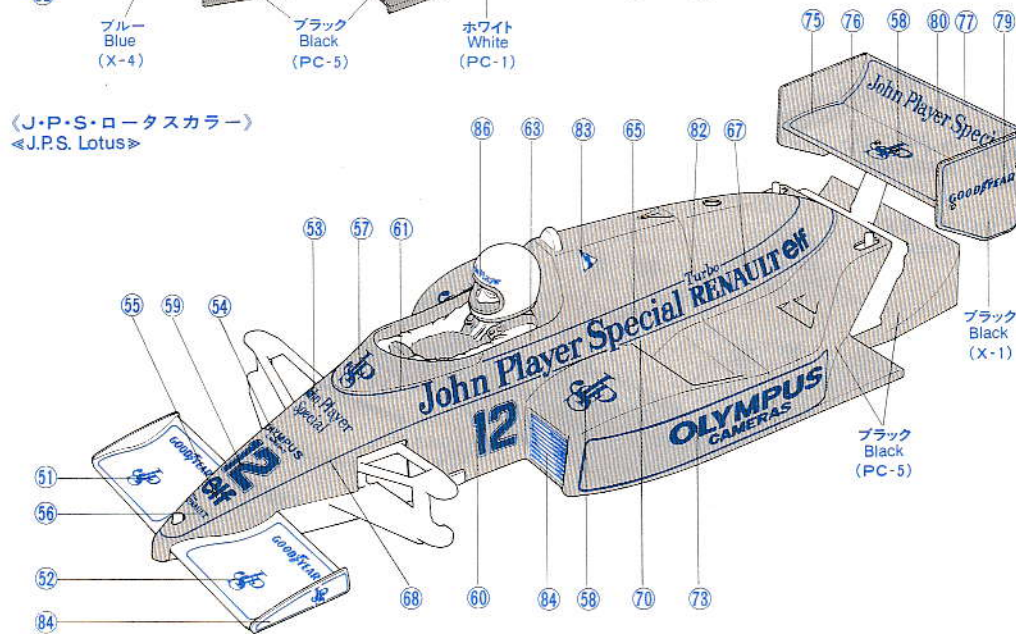
上記の価格は予告なく変更となる場合がありますので御読下下さい。

30 ウィザードF-1のマーキング MARKING OF BODY

《ウィリアムズ・ホンダカラー》 《Williams Honda》



《J・P・S・ロータスカラー》 《J.P.S. Lotus》



ROAD WIZARD F-1

走らせない時は
バッテリーは必ず
はずしておきましょう

〈走行〉

〈走行前の点検・チェック〉

走行の前には、必ず下図のポイントを点検して下さい。故障や事故を防ぐために欠かせないことです。車を台の上におき、タイヤを浮かして行うのがよいでしょう。

★組立て後、最初に走らせる時は、最初の5分間ぐらいはステアリングやスイッチの調子を見ながらゆっくり走らせて下さい。

- 1 各部のネジに、ゆるみはないでしょうか。特にイモネジに注意して下さい。
- 2 送信機の電池の容量は不足していませんか。メーターやランプで確認し、不足している場合は電池を取りかえるか、充電して下さい。
- 3 走行用カドニカバッテリーの充電は充分ですか。
- 4 ステアリングは左右に確実に動きますか。また車を走らせて直進も調整します。
●車を手前から向うに走らせ、直進を確めます。まがるようでしたら、ステアリングスティックのトリムレバーをまがる向きと逆に動かして調整します。
- 5 スイッチは最高速に確実に入りますか。また確実に止まるかも確認。
- 6 コードが切れかかっていたり、ビニールがむけたりしていませんか。ビニールがむけているとショート危険があります。ビニールテープなどをまいて絶縁して下さい。
- 7 ホイール止め、ロックナットのしめ付けは確実ですか。
- 8 バンドが切れかかっていたら交換します。走行中ははずれることがあります。
- 9 後輪は軽くまわりますか。ギヤー、軸受けにはオイルスプレーなど油をさします。

〈スイッチ取扱い上の注意〉

電動RCカーは、強力なカドニカバッテリーや高性能モーターが使われることなどにより、最大200ワット以上の大量の電気が配線関係に流れます。このため配線をまちがえたり、調整や扱いが悪いと受信機やサーボ、スピードコントローラー、モーターなどをこわしてしまうことになります。特に次のようなことに注意して下さい。

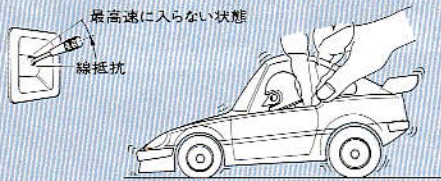
〈受信機やサーボがこわれます〉

受信機用電源の共用コードの配線をまちがえると、受信機やサーボがこわれます。配線は説明図をよく見て行なって下さい。

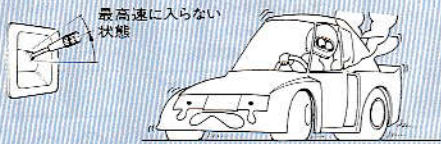
〈車が暴走します〉

スピードコントローラーが停止の位置にない時にバッテリーをつなぐと車が暴走します。必ずスピードコントローラーが停止の位置にあることを確かめてから、バッテリーをつないで下さい。

〈スイッチの平型レジスターが焼き切れます〉

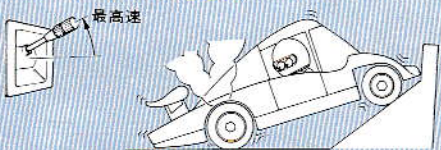


スピードコントローラーが最高速にはいっていない状態で、走行している車を手でムリに止めたり、ギヤーのかみ合わせが悪かったり、物がはさまって後輪が回転できないと平型レジスターが焼き切れてしまいます。



スピードコントローラーが最高速にはいっていない状態で長く走らせるとやはり平型レジスターが焼き切れます。

〈モーターがこわれます〉



車が障害物に当たったり、はさまったりして動けない時に、ムリに車を動かそうとするとモーターがこわれます。モーターに負担をかけないで下さい。

〈走行させる時の手順〉

1. 走行用の電池、送信機の電池をセットする。
 2. 送信機のスティック、トリムレバーがニュートラル(中立)の位置にあることを確認する。
 3. 送信機のスイッチを入れる。
 4. 受信機のスイッチを入れる。
 5. スティックを動かし、各部の動きを確認、必要ならトリムレバーで調整する。
- ★この手順は、必ず守って下さい。受信機の

スイッチを送信機のスイッチより先に入れた場合、他の電波の混信によってモデルが暴走することがあります。

★走行を終える場合は、必ず逆の手順で行い、受信機、送信機のスイッチを切り、走行用電池、送信機の電池もぬいておきます。

〈走らない時の点検・チェック〉

〈走行前の点検・チェック〉をしたのに、どうもでき上がったモデルがうまく走らない。走っても途中から動きがおかしくなりました。そんな時のためのチェックポイントです。

- 1 モーターの故障、配線を外してモーターのリード線を直接電池につないで確認できます。モーターがまわるようでしたら、他の部分の故障が考えられます。
- 2 サーボホーン的位置は正しい位置に付いてあるでしょうか。左右の曲り方が同じになる位置にとりつけて下さい。
- 3 スイッチの平型レジスターが焼けたり、切れたりしていませんか。9ページを参考に修正や交換をおこないます。
- 4 送信機、受信機のアンテナは正しく伸ばされているでしょうか。
- 5 シャフト、ギヤーに草がからんだり、小石がはさまっていませんか。そのまま走らせるとモーターの焼きつきを起します。きれいにのぞいて下さい。
- 6 他の電波の混信。受信機のスイッチを入れ、送信機のスイッチを切った状態で、サーボが不規則な動きをするようでしたら、他の電波の混信が考えられます。
- 7 ラジオコントロールメカニズムの故障、ご使用のメカニズムのメーカーのアフターサービスをご利用下さい。モーター及びラジオコントロールメカニズムは、非常に精密に作られています。ていねいに扱って下さい。

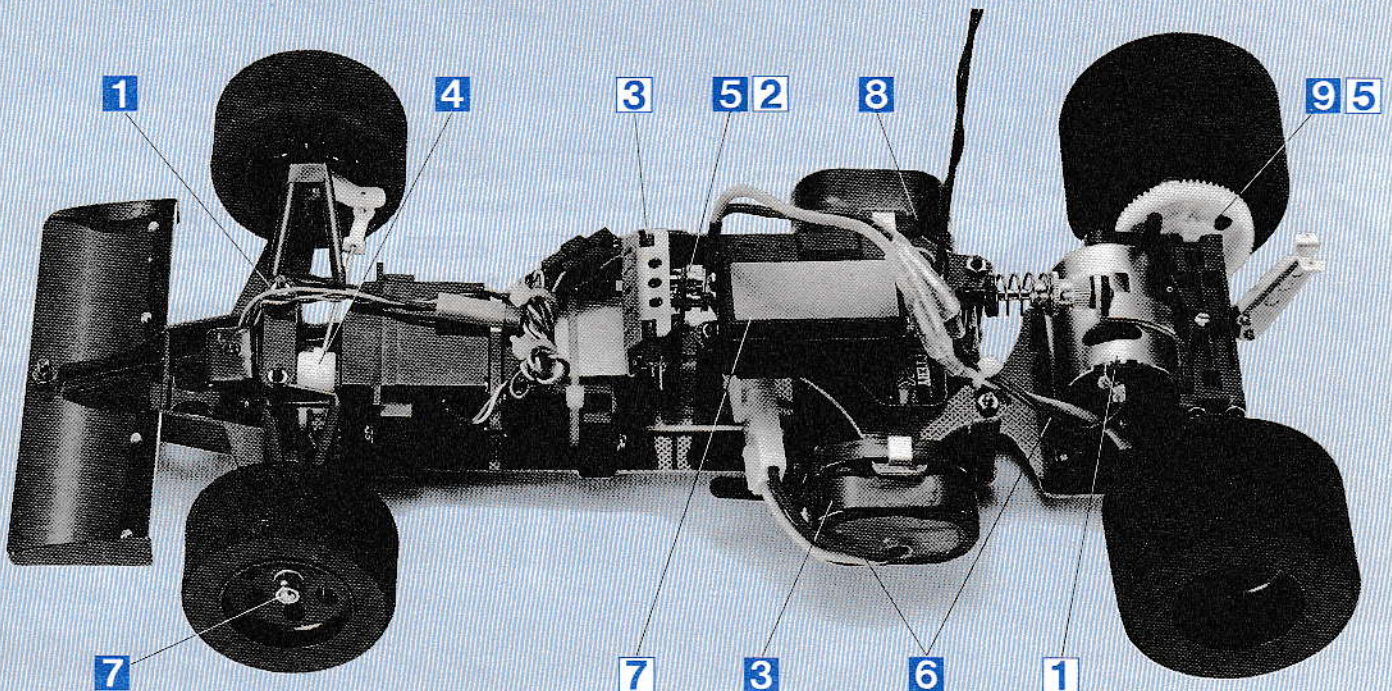
〈走行後の整備〉

走らせたあとは、必ずモデルの手入れをしましょう。いつまでも性能を保つために欠かせないことです。

- 砂や泥、汚れなどはきれいにふきとっておきましょう。
- 各ギヤー、軸受けなどには必ず油をさしておきます。

〈注意〉

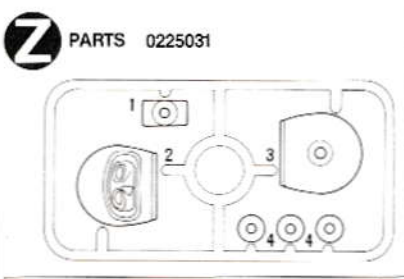
ラジオコントロールメカニズム、モーターや電池は、水にぬれたり、湿気が多いと故障しやすくなります。水にぬれた場合は、よく水分をふきとり、風通しのよい所で乾かして下さい。



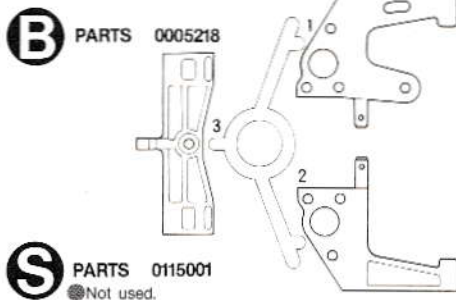
PARTS

★Extra screws & nuts are included. Use them as spares.

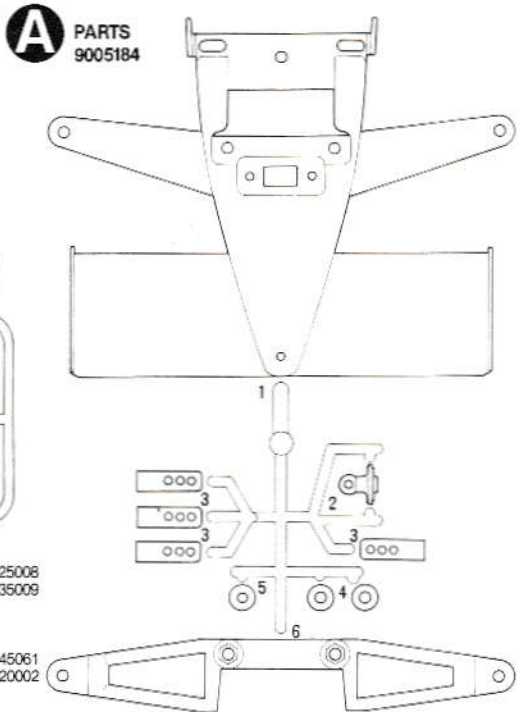
Body, wing & undercowl 9805013
Sticker A 9495065
Sticker B 9495066



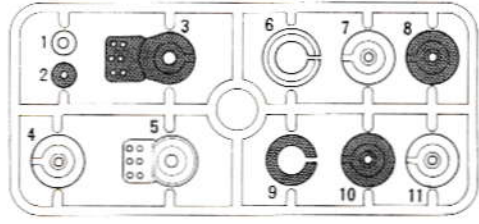
Z PARTS 0225031



B PARTS 0005218
● Not used.



A PARTS 9005184



S PARTS 0115001
● Not used.

Front tire 6225008
Rear tire 6235009

WHEEL BAG 9335021
Front & rear wheel 0445061
Synthetic rubber cement 6420002

SCREW BAG A 9465141

- 3mm x 12 Self tapping screw 2080007
- 3mm x 8 Self tapping screw 2080009
- 3mm x 12 Flat self tapping screw 2080010
- 3mm x 10 Flat self tapping screw 2080011
- 3mm x 8 Countersunk head screw 2020004
- 3mm x 6 Round head screw 2000026
- 3mm x 32 Countersunk head screw 2020014

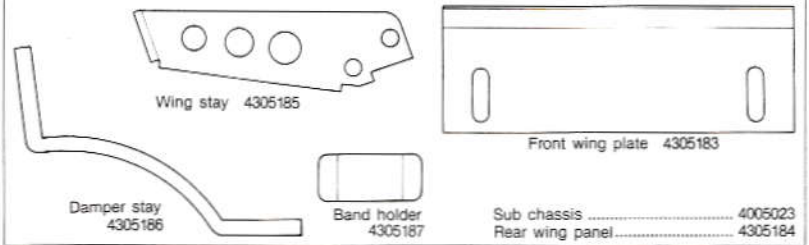
SCREW BAG B 9465142

- 2.6mm x 10 Self tapping screw 2080008
- 5mm Wheel nut 3455001
- 2mm x 8 Round head screw 2000008
- 2mm Nut 2200001
- 2mm x 4 Round head screw 2000005
- 2mm Washer 2300001
- 3mm x 6 Square neck screw 2090003

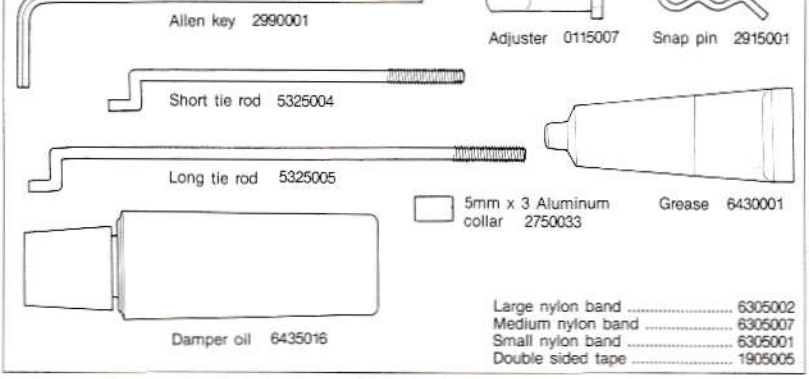
SCREW BAG C 9465143

- 4mm Lock nut 2220002
- 3mm Grub screw 2070002
- 3mm Nut 2200005
- 3mm Washer 2300007
- 4mm E Ring 2320005
- Ball pin 3455032
- Body mount 2685016

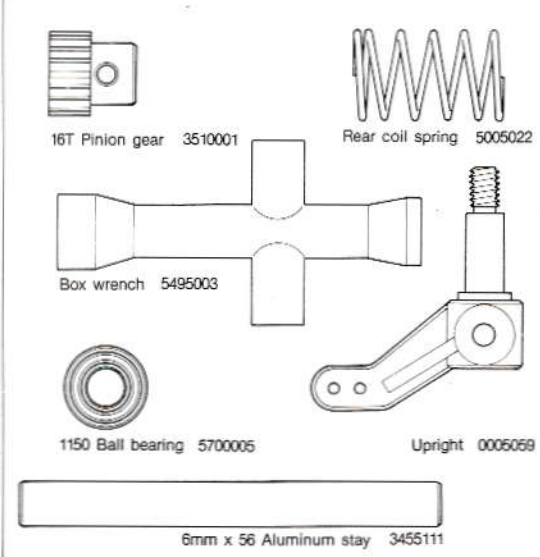
PRESS PARTS BAG 9405231



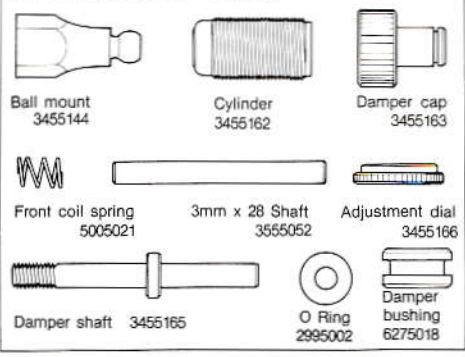
NYLON BAND BAG 9405232



BLISTER PACK 9755092



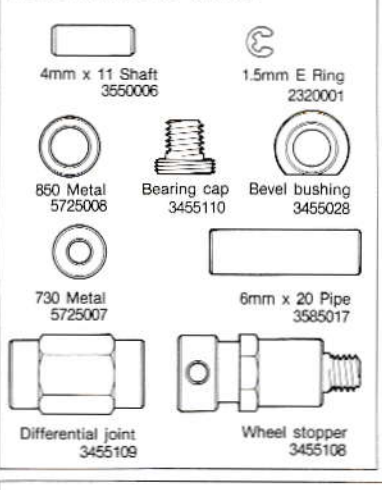
DAMPER PARTS BAG 9405234



DIFFERENTIAL GEAR BAG 9005144

- Differential spur gear
- Free bevel gear
- Inside bevel gear
- Outside bevel gear

METAL PARTS BAG 9405233



Speed controller 4505031
Speed controller arm 4505032

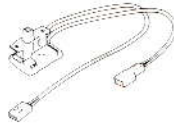
RS-540S Motor 7435014
Chassis 4005022
Upper deck 4025008
Rear shaft 3555077
Antenna post 5365002



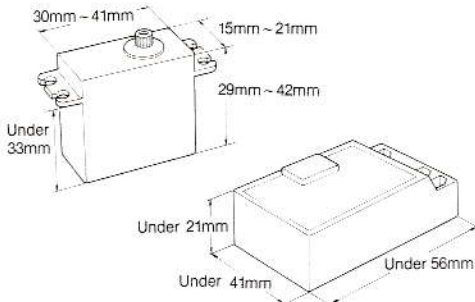
RADIO CONTROL UNIT

A battery eliminator equipped 2 channel digital proportional radio system referred to as BEC (Battery Eliminator Circuitry) system amongst the Japanese manufacturers is suggested for the model. For the other 2 channel proportional units without BEC, a separately sold battery eliminator set from Tamiya is required.

A separately sold battery eliminator unit is required when the radio does not have a BEC system.

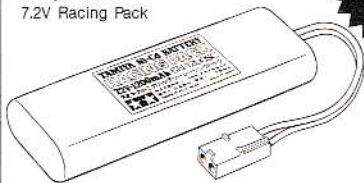


SUITABLE SERVO AND RECEIVER SIZE



POWER SOURCE REQUIRED

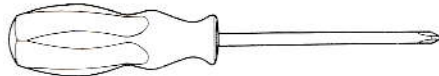
Tamiya Ni-Cd
7.2V Racing Pack



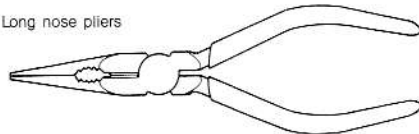
FOR MAXIMUM PERFORMANCE USE ONLY TAMIYA NI-CD BATTERIES.

TOOLS REQUIRED SEPARATELY

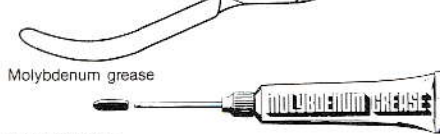
+ Screwdriver (large & medium)



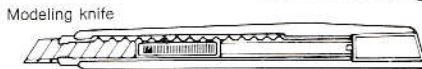
Long nose pliers



Side cutter



Molybdenum grease



Modeling knife

INSPECTION BEFORE OPERATION

Be sure to check the points shown in the figure before starting operation. This is necessary to prevent trouble and accidents. It is recommended to check them with the model put on a base so that the wheels are in the air.

★ In the first operation after assembly, let the model run slowly for the first 5 minutes while checking the condition of the steering and switch.

- 1 Make sure that screws, particularly grub screws, are tight enough.
- 2 Make sure that batteries for the transmitter are new by means of meter or lamp.
- 3 Make sure that the Ni-Cd battery has been sufficiently charged.
- 4 Does the car steer to right and left correctly and run in a straight line?

★ If the car does not run straight, adjust steering servo with the trim lever of the steering control so that the car runs straight.

- 5 Double check the speed controller for full travel to high speed and stop limits.
- 6 Double check that the wiring is in place and the insulation of the cables is not coming off. Improper insulation may cause short circuits. Insulate with vinyl tape, etc.
- 7 Make sure that wheel stoppers and lock nuts are tight enough.
- 8 If the nylon band is worn out, replace it with a new one.
- 9 Do rear wheels rotate smoothly? Make sure to lubricate gears, bearings, etc.

CAUTIONS

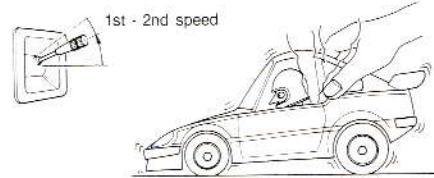
As an electric powered radio control car utilizes high capacity Ni-Cd batteries and high performance electric motors, currents as large as 200 watts flow in the circuit. You must be very careful of all wiring, adjustments, and the handling of the speed controller, otherwise your receiver, servo or speed controller can be damaged. Please note the following carefully.

CAR RUNS WITH SWITCH OFF

Whenever battery is connected, the switch blade of the speed controller must be on the stop position or the car will run as soon as the battery is connected. Make sure to check stop position of speed controller, then connect battery.

BURN OUT RESISTOR

If your car stops due to some foreign object ob-

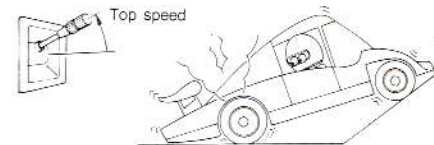


structing the wheels when running in the 1st or 2nd speed, the resistor of the speed controller can burn out.



Driving for long periods in the 1st or 2nd speed can also burn out the resistor.

DAMAGING MOTOR



Stopping the wheels from rotating when the speed controller is at top speed will seriously damage or burn out the motor. Never impose too much of a load on the motor.

TROUBLESHOOTING

After inspecting your car before operation, if it doesn't run well or shows strange movements while running, please carry out following check points.

- 1 If the motor does not function (a rare occurrence), remove wires and check the motor by directly connecting its lead wires to a fresh battery.
- 2 Is the servo horn in the proper position? It must be fitted so that the horn moves right and left the same amount.
- 3 Is the resistor burnt out or cut out? Replace it with new one referring to page 8.
- 4 Antennas of transmitter and receiver must be adjusted correctly.
- 5 When shaft or wheels become entangled, motor will overheat. Remove such hindrances immediately.
- 6 If the servo moves abnormally when the receiver is on, and the transmitter switch is off, another transmitter is causing interference.
- 7 If the radio control unit is not satisfactory, check with the manufacturer. The radio control unit is very precisely constructed and must be handled with great care.

